

2024 年度 事業報告及び決算

自 2024 年 3 月 1 日
至 2025 年 2 月 28 日

公益社団法人 日本金属学会

〒980-8544 仙台市青葉区一番町一丁目 14 番 32 号

TEL 022-223-3685 FAX 022-223-6312

目 次

■ 事業報告

概要	1
----------	---

I.事業の状況

1. 学術誌及び学術図書類の刊行（定款第5条第1号）	2
2. 学術講演会及び学術講習会の開催（定款第5条第2号）	4
3. 学術に関する調査及び研究（定款第5条第3号）	12
4. 学術に関する表彰及び奨励（定款第5条第4号）	21

II.庶務の概要

1. 2024年度事業に関する諸会議・諸集会一覧	32
2. 役員等に関する事項	34
3. 職員に関する事項	37
4. 会議等に関する事項	37
5. 各種委員会に関する事項	39
6. 広報に関する事項	45
7. 電子公告に関する事項	45
8. 契約に関する事項	45
9. 行政庁からの連絡事項および行政庁への報告事項等	45
10. その他重要事項	45

■事業報告の附属明細書	46
-------------------	----

■ 社員および会員の異動状況報告書

1. 社員の異動状況書	47
2. 会員の異動状況書	47

■ 決算

1. 貸借対照表	48
2. 正味財産増減計算書	49
3. 正味財産増減計算書内訳表	52
4. 財務諸表に対する注記	54
5. 計算書類の附属明細書	57
6. 財産目録	58

■ 監査報告

1. 監事監査報告書	60
2. 公認会計士監査報告書	61

2024年度事業報告

概要

2024年度の事業の概要は、次の通りである。

- ① 2024年度は公益社団法人に移行した12年目の事業年度であり、定款に定める公益目的事業を推進した。春・秋期講演大会、理事会を始めとした会議や研究集会等においても、昨年度に引き続き、ハイブリッド開催を含む現地開催を中心に事業を展開した。
- ② 刊行事業では、会報は月平均50ページで、冊子体は4,900部を刊行するとともに、電子ジャーナルを刊行した。5件の特集記事や1件の新技術・新製品特集を含め、魅力ある会報に向けた多様な記事の掲載を継続した。また、記事内容の向上を目的に読者アンケートを実施した。会誌は月平均25ページで、毎月オンラインジャーナルを刊行した。冊子体は2号ずつ合併して偶数月に発行し、270部を発行した。3件の特集を企画し、掲載論文数の増加を目指した。インパクトファクターは0.5であった。欧文誌Materials Transactionsは平均141ページで、オンラインジャーナルを刊行した。冊子体は140部を発行した。インパクトファクター向上のため、「Current Trends in Research」カテゴリー論文の掲載を継続するとともに、被引用数の多い論文の著者へのTop Cited Paper Certificateの発行を継続した。また、2025年1月から会員は全ての論文をフリーダウンロード可能とした。既刊図書類の電子化を行い、一部を除いて会員への無料提供を継続した。
- ③ 講演会・講習会事業では、2回の講演大会を開催した。春期講演大会は東京理科大学で開催し、講演件数685件、参加者1,262名であった。秋期講演大会は大阪大学で開催し、講演件数は1,055件、参加者数は1,772名であった。公募シンポジウムは春期5テーマ、秋期9テーマ、企画シンポジウムは春期2テーマ、秋期5テーマと活発に開催した。秋期には海外5ヶ国から講演者を招いて国際シンポジウムを開催した。ポスターセッションは春期179件、秋期317件であった。高校生・高専学生ポスターセッションは春期62件、秋期17件で、いずれも現地とオンラインで開催した。また、現地で機器展示および企業の技術セミナーを開催した。さらに、学生を対象とした学生キャリアサポート展示、企業技術セミナー、機器展示などを春、秋ともに開催した。金属学会セミナーは1件を対面とオンラインを併用して開催した。オンライン教育講座を4件実施し、過去の講座9件をオンデマンド配信した。支部では36件の講演会・講習会を開催した。
- ④ 調査・研究事業では、9分科で活動を実施した。8テーマの研究会と2テーマの若手研究グループが活動を行った。また、4テーマの産学協創研究会が活動を行った。第5回日本金属学会フロンティア研究助成15件を採択し、助成金を交付した。支部では20件の研究会を開催した。男女共同参画委員会では、女性会員の集いを秋期講演大会期間中に開催した。大韓金属材料学会(KIM)との交流としてKIM年次大会へ表敬訪問するとともに、KIM-JIMM SymposiumをKIM年次大会で開催した。JIMM/TMS Young Leaderの相互派遣については、本会から1名の派遣者を派遣し、TMSからの派遣者1名を春期講演大会に受け入れた。ASM Internationalとの連携事業を継続した。また、新たにインド金属学会(IIM)およびMaterials Research Society-Taiwan (MRS-T)との間で、学術交流協定(MOU)を締結した。
- ⑤ 表彰・奨励事業では春表彰10件、秋表彰8件を授賞した。名誉員2名を推戴し、フェロー1名を認定した。春表彰、秋表彰ともに贈呈式を行った。奨励賞および村上奨励賞の推薦資格の変更、奨学賞規程および規則の改訂を行った。支部でも主に若手を対象とした18件の授賞を実施した。
- ⑥ 庶務では、定時社員総会を開催し、理事会はほぼ2ヶ月ごとに開催して業務執行理事による業務執行報告を行なった。法令で定められた申請書類や定期提出書類を提出した。広報活動を推進し、講演大会参加者へのネクストラップの配付、会員へのカレンダーの送付等を行って新ロゴマークの周知を継続した。会員へのインタビューを行ってホームページに掲載した。
- ⑦ 会計では、公益法人の財務3基準である、収支相償、公益目的事業比率、遊休財産額保有上限額をいずれも達成した。なお、本年度は会費収益の75%を公益目的事業に配賦した。

I. 事業の状況

1. 学術誌及び学術図書類の刊行（定款第5条第1号）

1) 日本金属学会会報“まてりあ”

①発行

- ・第63巻3号(2024年3月1日発行)から第64巻2号(2025年2月1日発行)までの12号を毎月、電子ジャーナルおよび冊子(発行部数:4,900部)で発行。
- ・掲載論文・記事数:135編(月平均12編)
- ・掲載ページ数:592ページ(月平均50ページ)

②特集等(6件)

- | | | |
|-----------|------------|---------------------------------|
| 特集 | 第63巻3号 | 「金属材料の高温酸化・腐食研究の最前線」 |
| 特集 | 第63巻7号 | 「大型放射光施設SPring-8における構造解析技術の最前線」 |
| 特集 | 第63巻9号 | 「“生体環境”に接する材料表界面の研究最前線」 |
| 特集 | 第63巻10号 | 「過酷環境下における材料強度と寿命」 |
| 特集 | 第64巻1号 | 「最先端量子ビームで切り拓く熱電変換材料の研究最前線」 |
| 新技術・新製品特集 | 第64巻1号, 2号 | 計7編 |

③特記事項

- ・魅力ある会報に向けた施策を検討し、実施した。
- ・「金属素描」、「金属なんでもランキング」、「解説」、「最近の研究」、「講義ノート」、「実学講座」、「新進気鋭」、「材料ニュース」、「材料教育」、「トピックス」、「先達からのお便り」、「はばたく」、「スポットライト」、「思い出の教科書、この1冊」、「科学館めぐり」、「研究所紹介」、「あのころの”まてりあ”」、「美しい金属の写真」、「What ‘s 技術士」などを掲載した。
- ・第63巻4号、8号、12号の巻頭にサイエンスライターによる読み物記事を掲載した。
- ・記事内容の向上を目的に読者アンケートを実施した。

2) 日本金属学会誌

①発行

- ・第88巻3号(2024年3月1日発行)から第89巻2号(2025年2月1日発行)までの12号を毎月、電子ジャーナルで発行した。冊子(発行部数270部)は、2号合冊して発行した。
- ・掲載論文・記事数:59編(月平均4.9編)
- ・掲載ページ数:296ページ(月平均25ページ)

②特集(3件)

- ・第88巻9号「超温度場材料創成学」
- ・第88巻12号「チタンおよびチタン合金のプロセス、組織、特性の最近の研究と発展」
- ・第89巻1号「巨大ひずみ加工で創出した超機能ナノ材料」

③特記事項

- ・掲載論文数の減少により、冊子を2号ずつ合併して、偶数月の1日に発行した。
- ・掲載論文数増加を目的として、修士課程に在籍する学生会員を対象として投稿の勧誘を行った。
- ・インパクトファクターは0.5であった。
- ・論文数増強の一環として、欧文誌に掲載された論文の著者に和訳論文の投稿を勧誘し、その際に機械翻訳Webサービスを用いた翻訳原稿の参考資料としての提供を行った。
- ・オンラインジャーナルでの図面の色の表示を、すべて原稿の通りのカラースケールとしてキャプションの最後に「(online color)」と追記し、図表のカラー代金(1図につき税込1,100円)を廃止した(冊子体および別刷については、従来通りすべてモノクロ印刷)。
- ・図表の元となるデータや、頁数の制限等から本文には掲載できなかった図表等を、電子ジャーナルに電子付録として掲載できるようにした。

3) Materials Transactions

①発行

- ・ Vol. 65 No. 3 (2024年3月1日発行) から Vol. 66 No. 2 (2025年2月1日発行) までの12号を毎月、電子ジャーナルおよび冊子140部で発行した。
- ・ 掲載論文・記事数：220編（月平均18編）
- ・ 掲載ページ数：1702ページ（月平均141ページ）

②特集(1件)

特集 Vol. 65 No. 9 「Materials Science on High-Entropy Alloys II」

③特記事項

- ・ Materials Transactions 共同刊行編集委員会を開催した
(Web会議) 2024年5月22日、2024年8月29日、2024年11月27日、2025年2月21日
- ・ Overview 3編、Review 6編を掲載した。
- ・ 特集掲載論文を引用して特集企画の内容を紹介する、もしくは論文賞・新進論文賞受賞論文を引用してその内容を紹介する「Current Trends in Research」カテゴリー論文5編を掲載した。
- ・ インパクトファクター向上のための施策を検討し、依頼Overviewや被引用の見込まれる論文のフリーダウンロード化、投稿・審査料の追加費用によるフリーダウンロード化、和文誌掲載論文の英訳論文のフリーダウンロード化を継続するとともに、2025年1月から会員は全ての論文をフリーダウンロード可能とした。
- ・ 高被引用論文の公開や被引用数の多い論文の著者に Top Cited Paper Certificate を発行した。
- ・ インパクトファクターは1.2であった。
- ・ オンラインジャーナルでの図面の色の表示を、すべて原稿の通りのカラースケールとしてキャプションの最後に「(online color)」と追記し、図表のカラー代金（1図につき税込1,100円）を廃止した（冊子体および別刷については、従来通りすべてモノクロ印刷）。
- ・ 図表の元となるデータや、頁数の制限等から本文には掲載できなかった図表等を、電子ジャーナルに電子付録として掲載できるようにした。

4) 学術図書類

①学術図書類刊行委員会

直接会合はなし

②図書

- ・ なし

5) 機関誌海外送付

- ①日本金属学会報： 8ヶ国、23部
- ②日本金属学会誌： 10ヶ国、13部
- ③Materials Transactions： 15ヶ国、29部

2. 学術講演会及び学術講習会の開催（定款第5条第2号）

1) 講演大会

①春期大会(第174回)

- ・3月12日から15日の期間に東京理科大学葛飾キャンパスにおいて開催した。また、3月19日にはオンラインで高校生・高専学生ポスターセッションを開催した。
- ・日本鉄鋼協会との「相互聴講」申込を再開した。
- a. 参加申込者数1,262名
- b. 講演会場数12会場
- c. 講演発表
 - ・総発表件数685件。内訳は次の通りである。
 - ・学会賞受賞記念講演1件
 - ・本多記念講演1件
 - ・公募シンポジウム講演5テーマ85題（谷川・ハリス賞受賞講演1題、基調講演17題含む）
 - ・企画シンポジウム2テーマ 13題
 - ・一般講演333題（功績賞受賞講演6題、技術賞受賞講演2題、功績賞受賞講演2題、増本量賞受賞講演1題、招待講演1題、TMSヤングリーダーscholar講演1題含む）
 - ・ポスターセッション 179題（2部制）
 - ・高校生ポスターセッション 62題
 - ・日本金属学会・日本鉄鋼協会共同セッション
 - 「チタン・チタン合金」 13題（金属7題、鉄鋼6題）（日本鉄鋼協会会場）
 - 「高温融体の物理化学的性質」 8題（金属4題、鉄鋼4題）（日本鉄鋼協会会場）
- d. 日本金属学会・日本鉄鋼協会合同懇親会 参加者183名
- e. 男女共同参画ランチョンミーティング
- f. 日本金属学会講演概要web公開 2024年2月27日発行
- g. 学生キャリアサポート企業ポスター 5社
- h. ランチョンセミナー 3社
- i. 付設機器展示 17社、カタログ展示 2社

②秋期大会(第175回)

- ・9月18日(水)から20日(金)の期間、大阪大学豊中キャンパスにおいて開催した。また、9月25日(水)にオンラインで高校生・高専学生ポスターセッションを開催した。
- a. 大会参加者数1,772名
- b. 講演会場数18会場
- c. 講演発表
 - ・総発表件数1,055題。内訳は次の通りである。
 - ・公募シンポジウム講演9テーマ207題（奨励賞受賞講演2題、村上奨励賞受賞講演1題、基調講演44題含む）
 - ・企画シンポジウム5テーマ 26題
 - ・国際シンポジウム10題
 - ・一般講演449題（奨励賞受賞講演4題、技術開発賞受賞講演1題、村上記念賞受賞講演1題、村上奨励賞受賞講演2題、招待講演2件含む）
 - ・ポスターセッション317題（2部制）
 - ・高校生ポスターセッション 17題

- ・日本金属学会・日本鉄鋼協会共同セッション
「チタン・チタン合金」 21題（金属15題、鉄鋼6題）（日本金属学会会場）
「マルテンサイト・ベイナイト変態の材料科学と応用」 27題（金属14題、鉄鋼13題）（日本金属学会会場）
- d. 日本金属学会・日本鉄鋼協会合同懇親会 参加者233名
- e. 男女共同参画 女性会員の集い
- f. 日本金属学会講演概要Web公開 2024年9月4日公開
- g. 学生キャリアサポート企業展示 8社
- h. 企業ランチョンセミナー3社
- i. 機器展示 18社
- j. 託児室 延べ18名利用

③講演大会委員会

（オンライン）2024年3月28日、2024年5月30日、（吹田市）2024年9月17日、（オンライン）2024年11月7日

- ・2024年秋期講演大会の公募シンポジウムテーマを決定した。
- ・2025年春期講演大会の公募シンポジウムテーマを決定した。
- ・2024年秋期講演大会の企画シンポジウムテーマを決定した。
- ・2025年春期講演大会の企画シンポジウムテーマを決定した。
- ・ポスター賞規則を改定した。
- ・高校生ポスターの今後の活用について協議した。
- ・高校生ポスター運営方針を改定した。
- ・次期講演大会委員候補者を承認した。

④講演大会企画委員会

（オンライン）2024年7月31日、（メール）2024年5月15日、2024年11月14日、（千代田区）2025年1月23日

- a. 本年度の特記事項は次の通りである。
 - ・2024年秋期講演大会招待講演を決定した。
 - ・2025年春期講演大会招待講演を決定した。
 - ・講演時間ルール変更を決定した。
 - ・講演大会委員会規程および講演大会企画委員会規程を改定した。
 - ・次期講演大会委員会委員選出方針および構成員を決定した。
 - ・講演大会モバイルアプリ導入を決定した。
 - ・広報委員会からの2025年秋期講演大会における学生向けイベント企画を承認した。
 - ・2025年秋期講演大会国際シンポジウムのテーマについて決定した。
- b. 講演大会プログラム編成

・2024年秋期大会プログラム編成結果確認	2024年7月31日
・2025年春期大会プログラム編成結果確認	2025年1月23日

2) 本多記念講演

- ①第69回本多記念講演 2024年3月12日
 - ・乾 晴行（京都大学教授）
- ②本多記念講演委員会 （メール会議）2024年7月24日
 - ・第69回本多記念講演講師候補者を決定した。

3) 金属学会セミナー

関連分野	テーマ	世話人	開催日	参加者数
第3分野	相平衡と相変化の計算科学 －凝固現象編－	○阿部太一 (NIMS) 井誠一郎 (NIMS) 大出真知子 (NIMS) 梶原正憲 (東京科学大)	2024年11月7、8日 対面 (エッサム神田) ／オンライン	対面12名、 オンライン 63名

4) 金属学会シンポジウム

開催しなかった

5) オンライン教育講座

関連分野	テーマ	講師案	世話人	開催時期	受講者数
9	電子顕微鏡と格子欠陥の基礎	坂 公恭	宮崎 秀俊	2024年6月19、20日	75名
1	マルチスケール材料科学	毛利 哲夫	寺田 弥生 井 誠一郎 戸田 佳明	2024年10月28、29日	32名
8	構造材料(2) －非鉄材料編－	新家 光雄 里 達雄 鎌土 重晴 門前 亮一	山崎 倫昭 小林 覚	2024年11月28、29日	41名
2	結晶学の基礎	松原英一郎	西内 武司	2025年2月6、7日	42名

6) オンライン教育講座オンデマンド配信

テーマ	進捗	配信時期	受講者数
結晶学の基礎	配信済み	2024年1月	41名
材料強度の基礎	配信済み	2024年2月	46名
金属製錬の熱力学	配信済み	2024年8月	17名
金属材料の耐環境性(1)	配信済み	2024年4月	10名
医療用金属材料の基礎	配信済み	2024年5月	10名
弾性異方性の考え方	配信済み	2024年6月	8名
金属材料の耐環境性(2)	配信済み	2024年7月	23名
工業材料の応力・歪測定	配信済み	2024年10月	13名
構造材料(1)鉄鋼材料編	配信済み	2024年11月	12名

7) 公募シンポジウム (14テーマ)

① 春期講演大会 (5テーマ) 開催場所：東京理科大学葛飾キャンパス

	テーマ	開催日	講演数
S1	マルテンサイト変態「温故知新」	2024年3月13、14、15日	28件 (基調講演15件含)
S2	特異反応場における時間/空間応答を利用し	2024年3月14日	16件 (基調講演2件含)

	た新奇材料構造創成 V		
S3	超低損失軟磁性材料の開発動向～パワー半導体との共創による革新的パワエリシステムの実現に向けて～	2024年3月13、14日	14件（基調講演5件含）
S4	材料機能特性のアーキテクチャー構築シンポジウムV ーさまざまな格子欠陥・相界面のアナロジー体系化による学理の再認識ー	2024年3月14日	14件（基調講演6件含）
S5	材料表面の金属化学Iーめっき・耐食性・耐酸化性・触媒研究の新展開ー	2024年3月13、14日	13件（基調講演5件含）

計85件（基調講演33件含）

②秋期講演大会（9テーマ） 開催場所：大阪大学豊中キャンパス

	テーマ	開催日	講演数
S1	特異反応場における時間/空間応答を利用した新奇材料構造創成VI	2024年9月19日	19件（基調講演2件含）
S2	ハイエントロピー合金の材料科学（XI）	2024年9月18、19日	24件（基調講演6件含）
S3	計算科学および新規腐食解析に基づく腐食現象の解析・可視化と機械学習による腐食予測II	2024年9月19日	9件（基調講演4件含）
S4	極限環境対応構造材料のためのマテリアルDX（II）	2024年9月18、19日	24件（基調講演7件含）
S5	材料変形素過程のマルチスケール解析（VII）	2024年9月19、20日	26件（基調講演5件含）
S6	超温度場材料創成学II：Additive Manufacturingによる材料科学の新展開	2024年9月18、19、20日	51件（基調講演9件含）
S7	ワイドギャップ結晶の材料科学と高温プロセスVI	2024年9月20日	9件（基調講演2件含）
S8	機能コアの材料科学 V	2024年9月18、19日	30件（基調講演4件含）
S9	データ創出・活用による磁性材料の研究開発II	2024年9月18、19日	15件（基調講演5件含）

計207件（基調講演44件）

8）企画シンポジウム（7テーマ）

①春期講演大会（2テーマ） 開催場所：東京理科大学葛飾キャンパス

	テーマ	開催日	講演数
K1	生体界面での材料の分解・劣化・安定化	2024年3月14日	8件
K2	産学共創シンポジウム・カーボンニュートラルを目指して1	2024年3月13日	5件

計13件

②秋期講演大会（5テーマ） 開催場所：大阪大学豊中キャンパス

	テーマ	開催日	講演数
K1	材料化学におけるイノベーションの役割と	2024年9月18日	5件

	工業製品への展開IV		
K2	金属材料研究者のセカンドライフを考える	2024年9月20日	3件
K3	第6回自動車関連材料合同シンポジウム 「モビリティの未来に貢献する材料技術の 最新動向」	2024年9月18日	8件
K4	サーキュラーエコノミーの加速に必要な材 料科学の課題	2024年9月18日	6件
K5	構造材料開発のための精錬技術～カーボン ニュートラル社会における構造材料発展～	2024年9月18日	4件

26件

9) セミナー・シンポジウム委員会

(オンライン) 2024年3月26日、2024年6月14日、2024年11月22日、2025年1月30日、(メール) 2024年8月20日

- ・2025年度オンライン教育講座開催テーマおよび実施時期について決定した。
- ・2025年度オンデマンド配信予定について決定した。
- ・次期委員選出方針およびセミナーシンポジウム委員会規程改定を決定した。
- ・オンライン教育講座の維持員会社からの複数申込の割引料金を決定した。
- ・オンライン教育講座講師への「まてりあ」執筆依頼を承認した。
- ・オンライン教育講座の基礎講義シリーズの実施案および運営案について決定した。
- ・セミナーシンポジウム委員会規程改定を決定した。
- ・セミナーシンポジウム委員選出方針を決定した。

10) 支部講演会および講習会（日本鉄鋼協会等他学協会および本多記念会との共催を含む）

①北海道支部（4件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
2024年度日本金属学会・日本鉄鋼協会両北海道支部合同サマーセッション (日本鉄鋼協会と合同開催)	2024年7月12日	(札幌市) 北海道大学 FMI (フード&メディカルイノベーション) 国際拠点	49件	68名
支部主催 特別講演会	2024年7月12日	(札幌市) 北海道大学 FMI (フード&メディカルイノベーション) 国際拠点	1件	68名
2024年度日本鉄鋼協会・日本金属学会両北海道支部合同冬季講演大会 (日本鉄鋼協会と合同開催)	2025年1月23、24日	(室蘭市) アパホテル室蘭	25件	63名
本多光太郎記念講演会	2025年1月23日	(室蘭市) アパホテル室蘭	1件	63名

②東北支部（9件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
令和5年度軽金属学会東北支部講演会およびイブニングセミナー	2024年3月29日	（仙台市）東北大学工学部 ハイブリッド開催	3件	60名
令和6年度本多光太郎記念講演会	2024年7月5日	（仙台市）東北大学金属材料研究所2号館講堂	1件	66名
学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ2024（第18回）	メインイベント：2024年7月14日	（仙台市）東北大学川内北キャンパス講義棟	125件	10,708名
	AWARD表彰式：2024年7月22日	（仙台市）東北大学サイエンスキャンパスホール		250名
	サイエンス・オブ・ザ・未来表彰式：8月19日	（仙台市）東北大学 知の館		
第22回夏休み子ども科学キャンパス	2024年8月7、8日	（仙台市）東北大学 サイエンスキャンパスホール	6件	178名
日本鉄鋼協会東北支部 地区講演会および若手研究者フォーラム	2024年8月26日	（仙台市）東北大学金属材料研究所 講堂	3件	37名
第17回秋休み子ども科学キャンパス	2024年10月15、16日	（仙台市）東北大学 工学研究科・工学部	6件	204名
日本鉄鋼協会 湯川記念講演会	2024年12月9日	（盛岡市）岩手大学復興祈念銀河ホール	2件	52名
第15回製鉄資源に関するWorkshop（還元研究会）	2024年12月16、17日	（仙台市）緑水亭	9件	27名
令和6年度日本金属学会東北地区講演会	2024年12月20日	（秋田市）秋田大学 工学部3号館319講義室	3件	34名

③関東支部（1件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
支部学術講習会『転位論：ナノスケールの力学と動的挙動』全6回	2024年10月25日	東京科学大学 Zoom を用いたオンライン形式	1件	32名
	2024年11月1日		1件	29名
	2024年11月8日		1件	27名
	2024年11月15日		1件	24名
	2024年11月29日		1件	25名

	2024 年 12 月 6 日		1 件	26 名
--	-----------------	--	-----	------

④東海支部（4 件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
特別講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2024 年 3 月 22 日	名古屋大学+オンライン	1 件	92 名
特別講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2024 年 11 月 15 日	(豊橋市) 豊橋市民センター	1 件	99 名
支部学術講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2025 年 1 月 23 日	オンライン	3 件	36 名
本多記念講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2024 年 12 月 19 日	(名古屋市) 名古屋大学	2 件	63 名

⑤北陸信越支部（7 件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
特別講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2024 年 6 月 14 日	(富山市) ANA クラウンプラザホテル富山	2 件	56 名
冬季講演大会・特別講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2024 年 11 月 29 日	(長野市) 信州大学	113 件	154 名
石川地区講演会	2024 年 7 月 30 日	(金沢市) 金沢大学	1 件	33 名
福井地区特別講演会	2024 年 11 月 15 日	(金沢市) 金沢大学	1 件	34 名
福井地区特別講演会	2024 年 9 月 3 日	(福井市) 福井工業大学	1 件	28 名
	2025 年 2 月 20 日	(福井市) 福井大学	1	31 名
長野地区材料セミナー	2024 年 3 月 4 日	(長野市) 信州大学	2 件	34 名
富山地区特別講演会 軽金属学会と合同開催	2024 年 6 月 20 日	(富山市) 富山大学	3 件	58 名

⑥関西支部（4 件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
材料セミナー(テーマ 1) 日本鉄鋼協会が共催	2024 年 10 月 31 日、11 月 1 日	大阪公立大学中百舌鳥キャンパス	3 件	9 名
材料セミナー(テーマ 2) 日本鉄鋼協会が主催	2024 年 11 月 5 日	(一財)大阪科学技術センター	3 件	20 名
材料セミナー(テーマ 3)	2024 年 12 月 12 日	大阪大学大学院	3 件	14 名

日本鉄鋼協会が共催		工学研究科		
本多記念講演会	2024 年 9 月 10 日	(一財)大阪科学 技術センター	1 件	32 名

⑦中国四国支部（3 件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
本多記念講演会	2024 年 3 月 22 日	(岡山市) 岡山国際交流セ ンター 7 階多目的ホー ル	1 件	32 名
支部学術講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2024 年 8 月 19, 20 日	(松江市) 島根 大学	59 件	85 名
本多記念講演会	2024 年 8 月 20 日	(松江市) 島根 大学	1 件	79 名

⑧九州支部（4 件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
特別講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2024 年 4 月 19 日	オンライン	4 件	96 名
合同学術講演会 日本鉄鋼協会、軽金属学会と 合同開催	2024 年 6 月 1 日	(春日市) 九州 大学 筑紫キャンパス	104 件	196 名
秋季講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2024 年 10 月 25 日	(北九州市) 日 本製鉄(株)八幡 地区 人材育成セン ター	5 件	55 名
本多記念講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2024 年 10 月 25 日	(北九州市) 日 本製鉄(株)八幡地 区 人材育成センタ ー	1 件	55 名

11) 国内学協会等共催講演会

- ・本年度の開催なし。

12) 国際会議・国際シンポジウム

- ・本年度の開催なし。

3. 学術に関する調査及び研究（定款第5条第3号）

1) 調査研究委員会活動

①調査研究委員会

（オンライン）2024年3月27日、2024年10月4日

- ・2025年度研究会新規申請4件を承認した。
- ・2025年度若手研究グループ新規申請1件を承認した。

②調査研究推進委員会

（オンライン）2024年7月25日、2025年1月23日

- ・2025年度研究会新規申請4件の採択を決定した。
- ・2025年度若手研究グループ新規申請1件の採択を決定した。
- ・2025年度研究会および若手研究グループ、分科活動計画ならびに活動費を承認した。
- ・第4回フロンティア研究助成採択済み申請の研究中止と助成金返還について承認した。
- ・第5回フロンティア研究助成の採択案件15件を決定した。
- ・調査研究委員会規程および調査研究推進委員会規程を改訂した。
- ・次期調査研究委員選出方針および構成員を承認した。

2) 委員会活動

①企画委員会

（仙台、オンライン）2024年5月24日（オンライン）2024年7月18日、2024年9月11日、
2024年11月25日、2025年1月24日

- ・著作権の使用に関する件、産学協創研究会規程改訂の件、科学研究費助成事業の全体額増加に関する要望書及び署名活動への対応の件、2025年・2026年度理事・監事選出および会長・副会長候補者選挙方針の件、国際交流に関する件（IIMとのMOUの件、MRS-TとのMOUの件）、2025年度、2026年度理事候補者選挙方針および細則変更の件、本部幹代議員から副会長の選出の件、監事選出、選挙管理委員長選出の件、授賞メダル仕様変更の件、専務理事候補者の件、外部理事候補者の件、定款・細則改訂の件、社員総会議事の件、支部予算の件、人事公募の配信・掲載の件を検討し、理事会に答申した。

②セルフガバナンス委員会

直接会合はなし

③戦略推進委員会

直接会合はなし

④科研費委員会

直接会合はなし

⑤男女共同参画委員会

- ・男女共同参画委員会（日本鉄鋼協会との合同委員会）

（東京理科大学）2024年3月14日、（大阪大学）2024年9月19日

- ・2024年度「女性会員の集い」および「男女共同参画ランチョンミーティング」を開催した。
- ・2024年度活動計画を決定した。
- ・男女共同参画学協会連絡会の協力イベント「女子中高生のための関西科学塾」および「女子中高生夏の学校2024」に参加した。
- ・男女共同参画ランチョンミーティングに関するアンケートを行った。
- ・託児室利用料無料とした。
- ・2024年春期講演大会および2024年秋期講演大会時に託児室を開設した。

⑥人材育成委員会

直接会合はなし

⑦国際学術交流委員会

直接会合はなし

- ・第22回World Materials Day Awardの募集を行ったが、応募がなかった。
- ・第18回のJIMM/TMS Young Leaderを派遣した。
- ・第19回JIMM/TMS Young Leader International Awardの派遣者を決定した。派遣は次年度となる。
- ・2024年春期講演大会へのKIM代表者の招待を行った。

- ・2024年KIM年次大会に会長が出席した。
- ・ASM Internationalとの連携事業を継続した。
- ・2024年秋期講演大会において第3回国際シンポジウムを開催した。
- ・インドIIMとの間で学術交流協定（MOU）を締結した。
- ・台湾MRS-Tとの間でMOUを締結した。

⑧長期展望委員会

直接会合はなし

3) 研究会活動

①2024年度活動研究会（8テーマ）

研究会番号

81. 材料機能特性のアーキテクチャー研究会
82. 微小領域の力学特性評価とマルチスケールモデリング研究会
83. 高温材料の変形と破壊研究会
84. ソフト磁性研究会
85. 状態図・計算熱力学研究会
86. 結晶性材料の結晶配向評価および結晶方位解析技術研究会
87. 水素が関わる材料科学の課題共有研究会
88. 高温構造用材料の水蒸気酸化に関する基礎科学研究会

②各研究会の活動概要

81. 材料機能特性のアーキテクチャー研究会（開催2回）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
2024 年春期講演大会公募 シンポジウム S4 材料機能 特性のアーキテクチャー 構築シンポジウム V-さま ざまな格子欠陥・相界面の アナロジー体系化による 学理の再認識ー	2024 年 3 月 14 日	（東京都葛飾 区） 東京理科大学 葛飾キャンパ ス	全 18 件 基調講演 6 件 一般講演 11 件 谷川・ハリス賞 受賞講演 1 件	40～60 名
第 5 回材料機能特性のアー キテクチャー研究会	2024 年 12 月 21、22 日	（横浜市） 東京科学大学 大学会館集会 室・ラウンジ	全 16 件 基調講演 1 口頭 7 ポスター 9	29 名

82. 微小領域の力学特性評価とマルチスケールモデリング研究会（開催1回）

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
2024 年度 微小領域の力学 特性評価とマルチスケ ールモデリング研究会・ 共催「高温材料の変形と破 壊研究会」（代表世話人 物質・材料研究機構 澤田 浩太）	2024 年 9 月 11、12、13 日	小 京 都 の 湯 みくまホテル https://miku ma. jp/ 大分県日田市 隈 1 丁目 3-19	25 件	49 名

83. 高温材料の変形と破壊研究会（開催1回）

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
2024 年度「高温材料の変形と破壊」および「微小領域の力学特性評価とマルチスケールモデリング」研究会	2024 年 9 月 11、12、13 日	（日田市）みくまホテル	25 件	49 名

84. ソフト磁性研究会（開催なし）

85. 状態図・計算熱力学研究会（開催4回）

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
第 6 回研究会	2024 年 7 月 2 日	オンライン開催(Teams)	4 件	57 名
第 8 回世話人会	2024 年 7 月 9 日	メール回覧による審議		9 名
特別講座「相平衡と相変化の計算科学：凝固現象編」	2024 年 11 月 7、8 日	ハイブリッド開催(Zoom, エッサム神田)	6 件	76 名
第 9 回世話人会	2024 年 12 月 16 日	オンライン開催(Teams)		9 名

86. 結晶性材料の結晶配向評価および結晶方位解析技術研究会（開催1回）

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
第 3 回「結晶性材料の結晶配向評価および結晶方位解析技術研究会」	2024 年 11 月 26、27 日	（日光市）ホテルニューおおるり 宴会場	18 件	19 名

87. 水素が関わる材料科学の課題共有研究会（開催1回）

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
第二回日本金属学会「水素が関わる材料科学の課題共有研究会」	2024 年 11 月 20、21 日	（愛知県豊田市）：「知の拠点あいち」あいち産業科学技術総合センター 1 階 講習会室	38 件	75 名

86. 高温構造用材料の水蒸気酸化に関する基礎科学研究会（開催なし）

4) 若手研究グループ活動

①2024年度活動研究会（2グループ）

08 原子力エネルギー用材料研究グループ

09 非鉄金属材料の水素侵入・水素脆化研究グループ

②各若手研究グループの活動概要

08 原子力エネルギー用材料研究グループ（開催3回）

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
第2回研究集会	2024年3月18、19日	北海道大学工学部材料・化学系棟2階MC208講義室	5件	現地15名
第3回研究集会	2024年6月19日	核融合科学研究所 シミュレーション科学研究棟1階会議室	4件	現地22名、オンライン30名
第4回研究集会	2024年10月25日	TKP 東京駅カンファレンスセンター カンファレンスルーム10D	3件	現地18名、オンライン28名

09 非鉄金属材料の水素侵入・水素脆化研究グループ（開催3回）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
第1回研究会	2024年7月12日	オンライン	3件	12名
第2回研究会	2024年11月7日	オンライン	3件	13名
第3回研究会	2025年2月26日	TKP 東京駅カンファレンスセンター	4件	11名

5) 産学協創研究会

①2024年度活動研究会（4テーマ）

01 金属アディティブ・マニファクチュアリング研究会

02 カーボンニュートラル研究会

03 新材料・新機能創成研究会

04 マテリアルズインテグレーション研究会

②各研究会の活動概要

01 金属アディティブ・マニファクチュアリング研究会

・4回の委員会、2回の教育講座、2回の見学会と1回の業界団体セミナーを開催した。

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
第8回委員会	2024年5月10日	（大阪）大阪大学 中之島センター	6件	401名
第9回委員会	2024年7月23日	（東京）東京大学 生産技術研究所	6件	458名
企業見学会①	2024年7月24日	日本電子株式会社 昭島製作所	—	53名

第2回教育講座	2024年9月2日	オンライン	7件	100名
業界団体セミナー	2024年9月27日	東京都立産業貿易センター浜松町館	6件	150名
第10回委員会	2024年10月25日	(東京) 東京大学 生産技術研究所	6件	460名
第11回委員会	2025年1月16日	(大阪) 大阪大学 中之島センター	6件	438名
企業見学会②	2025年1月17日	三菱重工業株式会社 高砂製作所	—	95名
第3回教育講座	2025年2月28日	オンライン	3件	72名

02 カーボンニュートラル研究会

- ・1回のシンポジウムと2回の委員会を開催した。

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
企画シンポジウム	2024年3月13日	(東京都葛飾区) 東京理科大学葛飾キャンパス	5件	50名
委員会	2024年3月14日	(東京都葛飾区) 東京理科大学葛飾キャンパス	—	13名
委員会	2024年9月19日	(豊中市) 大阪大学豊中キャンパス	—	7名

03 新材料・新機能創成研究会

- ・1回の研究会を開催した。

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
第4回新材料・新機能創成研究会	2024年5月31日	東北大学 東京分室	2件	11名

04 マテリアルズインテグレーション研究会

- ・3回のセミナーを開催した。

行事	開催日	会場	講演数	参加者数
第14回 MInt セミナー	2024年3月22日	(姫路市) 亀の井 H オンライン配信	2件	33名
第15回 MInt セミナー	2024年9月10日	(つくば市) NIMS オンライン配信	2件	74名
第16回 MInt セミナー	2024年12月4日	(つくば市) NIMS オンライン配信	1件	42名

6) 日本金属学会フロンティア研究助成

- ・第5回日本金属学会フロンティア研究助成のテーマ15件を採択した。
- ・助成金を支給した。
- ・採択テーマ
 - 01 患者・医師双方にやさしい次世代高性能バルーン拡張型ステント用Co-Cr-W-Pt-Fe合金の開発
 - 02 軽量ハイエントロピー合金の創製と水素貯蔵への応用
 - 03 水素と変形双晶の協働による高強度・高延性鉄鋼材料創出への指導原理構築
 - 04 アルミナ粒子分散強化型超高温耐酸化性アルミナフォーミングCo基耐熱合金の開発
 - 05 共晶体構造化した高性能熱電合金バルク結晶の開発
 - 06 水中結晶光合成を利用した高機能金属ナノ炭酸塩の創製と二酸化炭素の資源化
 - 07 in-situ CT-XRD連成計測に基づくTiAl基合金の凝固・相変態過程の解明
 - 08 合金の溶解メカニズムに立脚した高耐久性材料開発指針の探索
 - 09 変形挙動解析と幾何学理論に基づくキンクによる強化機構の解明

- 10 エキゾチック磁性金属に基づく巨大トンネル磁気抵抗効果の実証
- 11 高温酸化皮膜を利用したアンモニア燃焼下での高温腐食性抑制に関する基礎的検討
- 12 機械学習ポテンシャル型MD計算に基づく金属系過冷却液体の粘性の温度依存性の解明
- 13 Cu-Zr系形状記憶合金の結晶構造制御と変態挙動への影響解明
- 14 直方晶チタン形状記憶合金の双晶変形における材料強化
- 15 鉄鋼材料のマルテンサイトにおける組織成長過程の3D解析

7) 支部研究会等活動

①北海道支部（0件）

- ・なし

②東北支部（1件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
第 23 回日本金属学会東北支部研究発表大会	2024 年 12 月 4 日	（弘前市）弘前大学 創立 50 周年記念会館 ちのくホール	6 件	59 名

③関東支部（1件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
ヤングメタラジスト研究 交流会	2024 年 11 月 21 日	（君津市）日本製鉄株 式会社東日本製鉄所 技術開発本部 RE センタ ー本館ホール	2 件	46 名

④東海支部（4件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
若手材料研究会	中止			
学生フォーラム TOKAI	2024 年 11 月 15 日	（豊橋市）豊橋市民セ ンター	61 件	99 名
技術交流フォーラム （学術討論会との共催）	2025 年 1 月 23 日	オンライン	3 件	53 名
金属材料談話会	2024 年 6 月 12 日	（名古屋市）名古屋大 学	1 件	16 名

⑤北陸信越支部（2件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
材料研究会	2024 年 10 月 8 日	（富山市）富山大学	6 件	33 名
材料研究会	2025 年 2 月 4 日	（富山市）富山大学	6 件	35 名

⑥関西支部（2件）

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
材料物性工学談話会 （第 1 回、第 2 回、第 3	2024 年 6 月 12 日 2024 年 6 月 18 日	大阪大学 材料開発物 性記念館 研修室	3 件	70 名

回)	2025 年 1 月 15 日			
マテリアルデザイン研究会 (第 1 回)	2024 年 11 月 20 日	(姫路) 西はりま 地場産業センター	1 件	36 名

⑦中国四国支部 (5 件)

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
若手フォーラム	2024 年 12 月 5 日	(岡山市) ピュアリテ ィまきび	14 件	25 名
若手フォーラム	2024 年 12 月 21 日	(徳島市) 徳島大学	ポスター 10 件	35 名
金属物性研究会	2024 年 12 月 23 日	(松山市) 愛媛大学	6 件	25 名
材料制御研究会	2025 年 1 月 29 日	(東広島市) 広島大学	4 件	26 名
若手フォーラム	2024 年 2 月 15 日	(岡山市) 岡山大学	講演 2 件 ポスター 35 件	78 名

⑧九州支部 (5 件)

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
材料科学談話会	2024 年 10 月 16 日	(福岡市) 九州大学 伊都 鉄鋼リサーチセ ンター	1 件	13 名
材料科学談話会	2024 年 11 月 7 日	(熊本市) 熊本大学 工学部研究棟 I	1 件	22 名
材料科学談話会	2024 年 12 月 25 日	(熊本市) 熊本大学 工学部研究棟 I	1 件	25 名
材料プロセス談話会	2024 年 10 月 29 日	(福岡市) 九州大学 伊都 図書閲覧室	1 件	26 名
材料プロセス談話会	2024 年 12 月 13 日	(福岡市) 九州大学 伊都 図書閲覧室	1 件	20 名

8) 支部見学会

①北海道支部(0件) なし

②東北支部(0件) なし

③関東支部(1件)

行事	開催日	場所	参加者数
支部見学会	2024 年 12 月 20 日	(千葉市) JFE スチール株式会 社 東日本製鉄所	18 名

④東海支部(0件) なし

⑤北陸信越支部(1件)

行事	開催日	場所	参加者数
支部見学会	2024年6月19日	(富山市) キタノ制作(株)・サンエツ金属(株)	24名

⑥関西支部(0件) なし

⑦中国四国支部(0件) なし

⑧九州支部(0件) なし

9) 国内学協会連携活動

①日本学術会議

- ・日本学術会議理学・工学系学協会連絡協議会 (オンライン) 2024年3月25日、2025年2月27日出席した。

②日本工学会

- ・定時社員総会 2024年6月7日
委任状出席した。
- ・事務研究委員会 (オンライン) 2024年4月26日、5月22日、6月19日、7月24日、10月23日、12月25日、2025年1月22日、2月26日出席した。
- ・会長・フェロー懇談会 (東京大学) 2024年6月27日出席した。

③材料連合協議会

- ・材料連合協議会幹事会 本年度は開催なし

④材料戦略委員会

- ・材料戦略委員会 本年度は開催なし

⑤日本金属学会・日本鉄鋼協会男女共同参画委員会

- ・男女共同参画委員会開催 (東京理科大) 2024年3月14日、(大阪大学)9月19日
- ・第14回ランチョンミーティング (東京理科大) 2024年3月15日
- ・第13回女性会員の集い開催 (大阪大学) 2024年9月20日

10) 国際学協会連携活動

①IOMMMS(International Organization of Materials, Metals & Minerals Societies)

- ・World Materials Day Awardへの応募がなかったので本年度は授賞しなかった。

②TMSとの交流

- ・JIM/TMS Young Leader International Scholarの相互派遣
- ・1名をTMS2024に派遣した。
派遣者：鈴木 飛鳥 (名古屋大学 助教)
- ・本会からTMS2025への派遣者を決定した。
派遣者：軽部 修太郎 (京都大学 特定准教授)
- ・TMSからの派遣者を本会2024年春期講演大会に受け入れ、講演を行った。 2024年3月15日
派遣者：Jessica A. Krogstad (University of Illinois)

③KIM(大韓金属・材料学会)との交流

- ・ KIMから本会春期講演大会への表敬訪問 2024年3月13日
 - ・ 本会からKIM年次大会への表敬訪問：榎会長が代表挨拶した 韓国平昌 2024年10月29日
 - ・ 第23回KIM/JIMMシンポジウム開催：KIM主催 韓国平昌 2024年10月29日
- KIM年次大会で開催した。KIMと本会からそれぞれ8名が参加した。

④ASM Internationalとの連携

- ・ ASMコンテンツの割引購入を継続した。

⑤インド金属学会（IIM）との連携

- ・ 本会秋期講演大会国際シンポジウムへの参加：IIMから2名参加した。 2024年9月19日
- ・ IIM-ATM 2024への参加：会長、副会長、事務局長が参加し、学術交流協定（MOU）を締結した。 2024年11月20-22日

⑥台湾MRS-Tとの交流

- ・ 会長、副会長、事務局長がMRS-T事務局を訪問し、MOUを締結した。 2025年2月20日

⑦国際シンポジウム

- ・ 韓国、オーストラリア、インド、インドネシア、台湾が参加する国際シンポジウムを秋期講演大会において開催した。 (豊中市)大阪大学 2024年9月19日

4. 学術に関する表彰及び奨励（定款第5条第4号）

1) 名誉員および各種賞受賞者一覧

賞	授賞件数	備 考
名誉員(春)	2名	
フェロー(春)	1名	
第69回学会賞(春)	1名	寄附による賞
第21回村上記念賞(秋)	1名	寄附による賞
第65回技術賞(春)	2名	
第30回増本量賞(春)	1名	寄附による賞
第64回谷川・ハリス賞(春)	1名	寄附による賞
第82回功績賞(春)	7名	学術部門5名、技術部門2名
第55回研究技能功労賞(春)	9名	寄附による賞
第21回村上奨励賞(秋)	3名	寄附による賞
第34回奨励賞(秋)	7名	学術部門6名、技術部門1名 寄附による賞
第47回技術開発賞(秋)	1件 10名	
第74回金属組織写真賞(春)	4件 16名	最優秀賞1件（5名）（第2部門1件） 優秀賞2件（9名）（第4部門2件） 奨励賞1件（2名）（第3部門1件）
第4回新進論文賞(秋)	6編 6名	会誌部門3編（3名）、欧文誌部門3編（3名）
第14回まてりあ賞(秋)	3編 13名	まてりあ論文賞2編（12名） まてりあ啓発・教育賞1編（1名）
第42回優秀ポスター賞(春)	37名	各所属機関・学科で贈賞
第43回優秀ポスター賞(秋)	42名	各所属機関・学科で贈賞
第11回高校・高専学生ポスター賞(春)	28件 97名	日本金属学会賞2件(4名)、最優秀賞2件（7名）、優秀賞24件(86名)
第12回高校・高専学生ポスター賞(秋)	10件 34名	日本金属学会賞1件(2名)、最優秀賞1件（2名）、優秀賞8件(30名)
第32回奨学賞(春)	43名	各大学および高専の卒業時に贈呈 寄附による賞
第19回JIM Young Leader International Scholar Award	1名	
他機関の各種学術賞、奨励金	なし	

2) 名誉員推戴

①名誉員（2名）

2024年3月13日

福井工業大学学長，大阪大学名誉教授 掛下 知行
北海道大学名誉教授 毛利 哲夫

3) フェロー認定

①フェロー（1名）

2024年3月13日

東京工科大学教授，学長，東京大学名誉教授 香川 豊

4) 各賞贈呈

①第69回学会賞（1名）

2024年3月13日

九州工業大学特任教授，熊本大学特任教授，佐賀大学特命教授，九州大学名誉教授 堀田善治

②第21回村上記念賞（1名）

2024年9月18日

〔骨質金属材料学の構築と金属積層造形法による骨配向化誘導デバイスの臨床応用〕

大阪大学大学院工学研究科教授 中野 貴由

③第65回技術賞（2名）

2024年3月13日

〔新鋼種の開発支援に資する組織予測シミュレーション技術の構築〕

日本製鉄（株）技術開発本部課長 諏訪 嘉宏

〔環境負荷低減に貢献する棒鋼・線材の開発と快削鋼の切削機構に関する研究〕

日本製鉄（株）技術開発本部室長 松井 直樹

④第30回増本量賞（1名）

2024年3月13日

〔高機能を持つ軽量・高強度マグネシウム合金の開発〕

熊本大学先進マグネシウム国際研究センター 教授/センター長 河村 能人

⑤第63回谷川・ハリス賞（1名）

2024年3月13日

〔高温用形状記憶合金の開発および金属間化合物の高温プロセスに関する研究〕

東京工業大学科学技術創成研究院教授 細田 秀樹

⑥第82回功績賞（7名）

2024年3月13日

学術部門 5名

〔新規高容量水素貯蔵材料のデザインと反応機構に関する研究〕

北海道大学大学院工学研究院 准教授 礪部 繁人

〔バイオセラミックスを利用した表面創製および血管治療用合金・プロセス構築に関する研究〕

東北大学大学院工学研究科 准教授 上田 恭介

〔界面組織制御に基づくマルチマテリアル化のための高信頼性異材接合に関する研究〕

大阪大学大学院工学研究科 准教授 小椋 智

〔物質内部の点欠陥の高精度計算とその応用〕

東北大学金属材料研究所 教授 熊谷 悠

〔構造用金属材料の力学特性と組織解析に関する研究〕

九州大学大学院総合理工学研究院 准教授 光原 昌寿

技術部門 2名

〔ホットスタンピングプロセスによる高強度薄鋼板の成形技術に関する研究〕

日本製鉄（株）技術開発本部課長 楠見 和久

〔高強度鋼材の拡散律速型組織制御に関する研究〕

日本製鉄（株）技術開発本部 主幹研究員 林 宏太郎

⑦第55回研究技術功労賞（9名）

2024年3月13日

旭川工業高等専門学校技術創造部 江口 篤史

東北大学金属材料研究所 菅原 孝昌

JFE 西日本ジーエス（株）教育部 竹井 豊明

JFE テクノリサーチ（株）知多ソリューション本部 寺西 秀男

（株）コベルコ科研 材料ソリューションセンター 中島 直哉

JFE テクノリサーチ（株）ナノ解析センター 野口 俊明

（公財）ふくい産業支援センターオープンイノベーション推進部 真柄 宏之

JFE テクノリサーチ（株）西日本ソリューション本部 村上 裕正

広島大学技術センター 矢吹 祐司

⑧第21回村上奨励賞（3名）

2024年9月18日

[粒子・繊維状金属技術による新材料・機能創出と合金の新規応用展開]

東北大学大学院環境科学研究科准教授 栗田 大樹

[ナノ炭素添加金属基複合材料の高機能化に関する研究]

東北大学大学院工学研究科准教授 周 偉偉

[Additive Manufacturing を中核とした社会基盤材料の組織と力学特性制御に関する研究]

大阪大学大学院工学研究科准教授 趙 研

⑨第34回奨励賞（7名）

2024年9月18日

学術部門 6名

[金属材料への水素侵入および水素拡散に関する研究]

東北大学金属材料研究所助教 味戸 沙耶

[光反射・吸収スペクトルの自在制御に向けた光学材料の開発]

東北大学大学院工学研究科助教 石井 暁大

[水素環境下における構造用金属の変形と破壊に関する研究]

物質・材料研究機構構造材料研究センター研究員 小川 祐平

[多元合金の凝固・相変態過程解明に関する研究]

京都大学大学院工学研究科 助教(現：名古屋大学大学院工学研究科 講師) 勝部 涼司

[マテリアルズインフォマティクスを用いた格子欠陥の構造・物性予測および解析手法の開発]

東北大学 金属材料研究所助教 清原 慎

[構造用金属材料における疲労破壊の計測・評価・防止に関する研究]

物質・材料研究機構構造材料研究センター主任研究員 吉中 奎貴

技術部門 1名

[Ti 合金および Mg 合金の材料組織制御と力学特性発現に関する研究]

日本製鉄(株)技術開発本部鉄鋼研究所主任研究員 石黒 雄也

⑩第47回技術開発賞（1件 10名）

2024年9月18日

[低サイクル疲労特性に優れた Fe-Mn-Si 系合金の製造技術開発と建築用制振ダンパーへの応用]

淡路マテリア (株) 開発グループ課長 千葉 悠矢

淡路マテリア (株) 開発グループ部長 大塚 広明

日鉄ステンレス (株) 山口製造所主幹 天野 智

日鉄ステンレス (株) 八幡製造所主幹 犬塚 純平

日鉄ステンレス (株) 研究センター主幹研究員 岩崎 祐二

(株) 竹中工務店技術研究所主任研究員 井上 泰彦

(株) 竹中工務店技術研究所研究主任 本村 達

(株) 竹中工務店技術研究所部長 櫛部 淳道

物質・材料研究機構構造材料研究センター上席研究員 澤口 孝宏

(一社) 日本溶接協会事業部主管 中村 照美

⑪第74回金属組織写真賞（3件 14名）

2024年3月13日

最優秀賞 1件 5名

【第2部門】走査電子顕微鏡部門

「 $\text{YBa}_2\text{Cu}_3\text{O}_{7-y}$ 超伝導薄膜中ナノロッド分布のマイクロスケールでの可視化」

九州工業大学 大学院生黒木 優成

九州大学超顕微解析研究センター 学術研究員 阿内 三成

名古屋大学大学院工学研究科 准教授 堀出 朋哉

九州工業大学 名誉教授 松本 要

九州工業大学大学院工学研究院 教授 石丸 学

優秀賞 2件 9名

【第3部門】透過電子顕微鏡部門

「Ti-48Al-2Cr-2Nb合金の凝固過程の時間分解CT-XRD観察」

京都大学大学院工学研究科助教 勝部 涼司

京都大学大学院工学研究科助教 鳴海 大翔

京都大学大学院工学研究科教授 安田 秀幸

【第4部門】顕微鏡関連部門

「Al-Zn-Mg合金における水素脆化発生挙動のマルチモーダル3Dイメージベース解析」

九州大学 大学院生 比嘉 良太

九州大学大学院工学研究院 助教 藤原 比呂

九州大学大学院工学研究院 主幹教授 戸田 裕之

豊橋技術科学大学機械工学系 教授 小林 正和

日本原子力研究開発機構システム計算科学センター 研究主幹 海老原 健一

(公財) 高輝度光科学研究センター散乱・イメージング推進室 主幹研究員 竹内 晃久

⑫第4回新進論文賞 (6編6名)

2024年9月18日

日本金属学会誌部門 3編(3名)

「Pt電極触媒のアンモニア酸化活性に及ぼすMo の添加効果」 (日本金属学会誌87巻4号)

秋田大学大学院生 (現: (株) SUBARU) ○佐藤 ひかる

秋田大学学生 (現: TDK (株)) 佐々木 一心

秋田大学大学院理工学研究科准教授 福本 倫久

秋田大学大学院理工学研究科准教授 高橋 弘樹

「電界放出型走査電子顕微鏡およびX線光電子分光法によるりん酸鉄化成処理皮膜の微細構造解析」 (日本金属学会誌87巻8号)

日本パーカライジング (株) 総合技術研究所研究員 ○宮澤 悠介

日本パーカライジング (株) 総合技術研究所副主任 中島 圭一

東北大学大学院生 板本 航輝

日本パーカライジング (株) 総合技術研究所研究員 福島 颯太

日本パーカライジング (株) 総合技術研究所技術員 安藤 美来

日本パーカライジング (株) 総合技術研究所副主任 内山 瑛

東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター助教 二宮 翔

東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター教授 西堀 麻衣子

日本パーカライジング (株) 総合技術研究所センター長 福士 英一

日本パーカライジング (株) 総合技術研究所エキスパート 吉岡 信明

日本パーカライジング (株) 総合技術研究所スペシャリスト 田口 秀之

「酸化カルシウムを用いた酸素発生用電極からのイリジウムの揮発分離回収法」 (日本金属学会誌87巻9号)

千葉工業大学大学院生 (現: JX金属 (株)) ○高橋 浩介

千葉工業大学大学院生 (現: JX金属 (株)) 實方 涼二

千葉工業大学大学院工学研究科准教授 永井 崇

Materials Transactions部門 3編(3名)

「Chemical Conversion Treatment of AA5083 Aluminum Alloy and AISI 1045 Carbon Steel under Galvanically Coupled Condition in Na₂MoO₄: Effect of pH on Corrosion Resistance」

(Materials Transactions Vol. 64 No. 2)

東北大学大学院生 (現: (一財) 電力中央研究所サステナブルシステム研究本部 特別契約研究員) ○小鯖 匠

東北大学大学院工学研究科教授 武藤 泉

東北大学大学院工学研究科助教 西本 昌史

東北大学大学院工学研究科准教授 (現: 島根大学材料エネルギー学部 教授) 菅原 優

「Relationship between Cluster-Arranged Nanoplate Formation and Mechanical Properties of Dilute Mg-Y-Zn Alloys Prepared by Combination of Low-Cooling-Rate Solidification and Extrusion Techniques」 (Materials Transactions Vol. 64 No. 4)

熊本大学大学院生 (現: トヨタ自動車九州 (株)) ○石崎 誠太郎

熊本大学先進マグネシウム国際研究センター 教授 山崎 倫昭

名古屋工業大学大学院工学研究科 教授 萩原 幸司

熊本大学先進マグネシウム国際研究センター 助教 西本 宗矢

熊本大学大学院生 (現: メルコセミコンダクタエンジニアリング (株)) 中村 太亮

熊本大学先進マグネシウム国際研究センター 教授, センター長 河村 能人

「Effects of High-Pressure Press on the Tensile Properties and Morphology of Polypropylene」 (Materials Transactions Vol. 64 No. 4)

山形大学大学院生 (現: 出光興産 (株)) ○伊藤 雪乃

山形大学大学院有機材料システム研究科准教授 西辻 祥太郎
 山形大学大学院有機材料システム研究科客員教授 佐野 博成
 山形大学大学院有機材料システム研究科客員教授 石川 優
 山形大学大学院有機材料システム研究科客員教授 井上 隆
 山形大学大学院有機材料システム研究科教授 伊藤 浩志

2024年9月18日

⑬第14回まてりあ賞（3編13名）

まてりあ論文賞2編 12名

[水素の局所分配制御によるアルミニウム合金の水素脆化・応力腐食割れ防止]（まてりあ62巻6号）

九州大学大学院工学研究院主幹教授 戸田 裕之

鳥取大学工学部准教授 清水 一行

九州大学大学院工学研究院助教 藤原 比呂

京都大学大学院工学研究科助教 平山 恭介

九州大学大学院工学研究院特任准教授 Yafei Wang

School of Materials Science and Engineering, Shanghai Jiao Tong University Assistant Professor

Yuantao Xu

九州大学大学院工学研究院特任助教 Jianwei Tang

[層状カルコゲナイドが拓く電子デバイス材料の新展開]（まてりあ62巻8号）

東北大学グリーンクロステック研究センター教授 齊藤 雄太

産業技術総合研究所先端半導体研究センター研究員 畑山 祥吾

産業技術総合研究所先端半導体研究センター主任研究員 張 文 馨

産業技術総合研究所先端半導体研究センター研究チーム長 岡田 直也

産業技術総合研究所先端半導体研究センター研究チーム長 入沢 寿史

まてりあ啓発・教育賞 1編 1名

[金属材料実験の手引き 2. 特性の計測評価 2-1 力学特性2-1-1 引張試験]（まてりあ62巻4号）

大阪大学大学院基礎工学研究科准教授 堀川 敬太郎

⑭第42回優秀ポスター賞（37名）

2024年3月13日決定

[各所属機関・学科において贈賞]

東京工業大学 青木 望

北海道大学 阿部 颯太

千葉大学 岩瀬 広也

岩手大学 梅山 大輝

東北大学 大橋 勇介

京都大学 片山 智貴

名古屋大学 川本 玲央

京都工芸繊維大学 神吉 俊輔

東京工業大学 金 奕霖

大阪大学 齋藤 悠宇

大阪大学 清水 佑太

長岡技術科学大学 鈴木 海渡

豊橋技術科学大学 鈴木 隆之

九州大学 高木 優朋

東京工業大学 陳 成

熊本大学 角田 昂駿

芝浦工業大学 戸澤 拓海

熊本大学 永井 直久

名古屋工業大学 中田 龍之介

東京工業大学 長藤 瑛哉

東北大学 新村 彩

茨城大学 西場 穂佳

北海道大学 長谷川 哲也

大阪大学 藤原 由鵬

熊本大学 増見 威臣

東北大学 増本 千裕

東北大学 松浦 紘夢
 香川大学 丸山 万葉
 名古屋大学 南濱 光希
 高知工科大学 宮田 漣
 芝浦工業大学 宗房 幸太
 大阪大学 山下 葵平
 大阪大学 山田 眞子
 茨城大学 山本 泰生
 熊本大学 吉田 那優
 茨城大学 渡部 善貴

金沢大学 Kholqillah Ardhian Ilman

2023年9月21日決定

[各所属機関・学科において贈賞]

芝浦工業大学 赤谷 優太郎

芝浦工業大学 朝田 有希子

中部大学 浅野 颯斗

北海道大学 荒木 琢眞

兵庫県立大学 稲村 慧

東北大学 Xiao Wang

東京工業大学 大川 将司

九州大学 太田 竜資

東京工業大学 尾崎 滉一

東京工業大学 鞆嶋 春輝

茨城大学 河野 龍星

北見工業大学 北澤 慶太

大阪大学 木下 凌輔

北海道大学 小谷 慧

東京工業大学 小山 兼央

東北大学 坂谷 有彩

北海道大学 佐藤 衣吹

名古屋大学 佐藤 琢巳

名古屋大学 柴垣 湧

芝浦工業大学 下萬 祐暉

九州大学 杉藷 統眞

北海道大学 孫 暁艶

岩手大学 高橋 諒

大阪大学 高原 光平

名古屋大学 田中 洸史朗

九州大学 田上 陽己

東北大学 弦木 健太郎

東北大学 鶴田 卓也

東北大学 長草 生真

熊本大学 樋口 竜太郎

大阪大学 平岡 創真

東京工業大学 晝間 悠斗

名古屋工業大学 廣野 零二

島根大学 福田 英

滋賀県立大学 星島 颯太

兵庫県立大学 村田 偉誠

東北大学 明 祖

京工繊大 小林 玄征

大阪大学 大場 美和

東北大学 米村 虎太郎

東京大学 Louis Galieue

⑮第43回優秀ポスター賞（42名）

⑩11回高校・高専学生ポスター賞（日本金属学会賞2件、最優秀賞2件、優秀賞24件）

2024年3月21日決定

高校生ポスター日本金属学会賞（2件）

1. 添加物を加えた熱分解によるエポキシ樹脂ガラスコート基板からの有用金属の回収
東京都立科学技術高等学校 稲場千怜、森田直之（指導教員）
2. 自己補修機構を有する表面層形成によるアルミニウム材料の耐食性向上について
旭川工業高等専門学校 畠山乃愛、平木琉那、佐藤丈太郎、千葉 誠（指導教員）

高校生ポスター最優秀賞（2件）

1. 外部磁力による磁性流体のスパイク形成の条件（その2）
兵庫県立姫路東高等学校 陰山麻愉、飯田凌央、石井 漸、永井 翔、中村賢矢、富士佳蓮、川勝和哉（指導教員）
2. 杉末利用材の熱分解における Mg-Al 水酸化物複合体（合成ハイドロタルサイト）を添加物としたことによる可燃性ガス最大化に関する考察
東京都立科学技術高等学校 荒井心優、森田直之（指導教員）

高校生ポスター優秀賞（24件）

1. 金属葉のふしぎ～アルカリ型燃料電池における高効率Pt/Pd触媒作出の基礎研究～
成田高等学校 小野俊輔、鈴木拓海、荒野心太郎、安藤大輝、梅田翔成、愛保結菜、佐野友里菜、古津侑大、安田愛菜、湯浅義大、鳩谷友一郎（指導教員）
2. 位置エネルギーを利用した発電及び蓄電の検討
神奈川県立厚木高等学校 新井直哉、大木修吾、勝又耕平、日高周真、杉原孝治（指導教員）
3. 過マンガン酸滴定における呈色変化
神奈川県立神奈川総合産業高等学校 鍋島秋桜、米山洋平（指導教員）
4. CNN による Ni、Co および C を含む鋼材の火花試験を用いた判別に関する研究
花園高等学校 永山正一郎、甲南大学 新田直也（指導教員）、神戸大学 加藤則行（指導教員）
5. Mg-Al水酸化物複合体（合成ハイドロタルサイト）を添加物とした食品廃棄物の熱分解における生成する可燃性ガス量の最大化に関する研究
東京都立科学技術高等学校 片向結子、森田直之（指導教員）
6. 合成ハイドロタルサイトの陰イオン吸着能による海水の脱塩効果に関する考察
東京都立科学技術高等学校 増田恵、森田直之（指導教員）
7. 酸化タングステンの水素還元に及ぼすマイクロ波急速加熱の影響
福岡県立宗像高等学校 藤原アレックス偉智朗、九州大学 小野彩奈、劉 家占、昆 竜矢、大野光一郎（指導教員）
8. 身の回りの菌を調べよう～日本一綺麗な学校を目指して～
岩手県立水沢高等学校 鳥海紗生、坂本倫花、千葉そよ香、新山怜奈、高橋一成（指導教員）
9. 水中衝撃波を用いた AZ31 合金の冷間プレス加工と高速変形に関する研究
鹿児島工業高等専門学校 山下琳太郎、増田悠汰、笹原みさこ、山田莉世、徳永 仁夫（指導教員）
10. PEG添加量が光触媒に及ぼす影響 ～メチレンブルーを用いた定量評価による検証～
京都市立京都工学院高等学校 田中希優、藤本優生、橋本 晴、馬谷音々、松田拓未（指導教員）
11. 有機化合物中の硫黄の簡易検出方法の開発
鹿児島県立国分高等学校 山田楓斗、小濱有貴、松永睦月、松下零央、宇治大五郎、河野裕一郎（指導教員）
12. マグネシウムとヨウ素を用いた二次電池の開発
福島県立福島高等学校 小山拓希、平野陽太、大谷温樹、小林 嵐、高橋昌弘（指導教員）
13. スリンキードロップ現象の力学的解明
岡山県立津山高等学校 宮地彩史郎、植田泰生、黒石陸斗、小林麟太郎、三村 侑矢、渡邊健矢、津田拓郎（指導教員）、戸田祥太（指導教員）
14. 失敗しない金樹の作成とその成長プロセス
東京都立小石川中等教育学校 三宅明信、加藤優太（指導教員）
15. アノード酸化アルミニウム合金の表面特性と封孔処理条件による変化
旭川工業高等専門学校 太田 響、平澤克磨、千葉誠（指導教員）
16. 乾湿繰り返し試験を用いた大気腐食模擬環境における金属材料の腐食機構とアニオン種の影響

旭川工業高等専門学校 柴田怜奈、東出こはる、河嶋咲希、千葉 誠（指導教員）

17. 天然多糖類を利用した金属イオンの捕捉

兵庫県立宝塚北高等学校 川口拓真、笹部祐也、金古雄大、加藤椋惺、上田悠人、岸田 純、高野悠惺、岡本守生、浅原素紀（指導教員）

18. バックスピンする物体の跳ね上がり現象の解明

岡山県立津山高等学校 的馬颯汰、浅倉修大、全本和真、加賀寛大、黒川龍之介、津田拓郎（指導教員）、戸田祥太（指導教員）

19. 電子レンジを用いたルビーの生成

福井県立武生高等学校 増永優太、此永士朗、城戸良太郎、松田庄平（指導教員）

20. 旭川の冬の気候を生かしたペルチェ素子の活用

北海道旭川西高等学校 内林虎雅、江花叶恋、鎌田廣貴、佐藤結斗、鈴木琢真、石丸高志（指導教員）

21. 糸状菌の菌種の違いによる生分解性プラスチックの分解能力の差について 第2報

北海道旭川西高等学校 大橋実愛、千貝一矢、松井宏翼、松浦 旦、松村 慧、石丸高志（指導教員）

22. 塗膜修復剤内包カプセル分散による自己修復生塗膜の形成とこの性能評価

旭川工業高等専門学校 三浦晃大、加藤華桜、田村心、千葉 誠（指導教員）

23. Mg電池の固体化及びその性能

兵庫県立宝塚北高等学校 上田悠人、岩本脩、内田有香、加藤大幹、浅原素紀（指導教員）

24. バイオリン表裏板の振動の解析

愛知県立明和高等学校 近藤大智、加賀春樹、中村謙之（指導教員）

⑰第12回高校・高専学生ポスター賞（日本金属学会会長賞1件、最優秀賞1件 優秀賞8件）

2024年9月26日決定

高校生ポスター日本金属学会会長賞（1件）

1. 和包丁の構造研究

愛知県立半田高等学校 國吉 悠介 山下 剛弘 田村二三代（指導教員）

高校生ポスター最優秀賞（1件）

1. 天然多糖類による金属イオンの捕捉とその応用

兵庫県立宝塚北高等学校 田中 楓 藤井 妃奈乃 浅原 素紀（指導教員）

高校生ポスター優秀賞（8件）

1. リグニンとデンプンからなる代替プラスチックの開発と特性評価（HSP1）

仙台高等専門学校 武田 芽依 河西 琴美 菱沼 侑太郎 渥美 慧流 及川 友花 佐々木 ゆい 早坂美尋 熊谷 進（指導教員） 森 真奈美（指導教員） 松原 正樹（指導教員）

2. カイロの温度を効率よく上げる方法（HSP4）

神戸市立六甲アイランド高等学校 池田 彩乃 石坂 文香 横山 奏平 玉木 由香梨（指導教員）

3. 架橋ポリグルタミン酸による銅イオンの吸着と回収について（HSP5）

滋賀県立虎姫高等学校 中村 倅 杉江 遥 藪中 楓人 山本 惺太 松本 千佳 堀 浩治（指導教員）

4. 天然多糖類による電池の固体化ー二次電池化を目指してー（HSP7）

兵庫県立宝塚北高等学校 高野 悠惺 高橋 夢南 宇野 遼太郎 下村 隼舞 船津 大翔 近藤 みなみ 波田 崇陽 浅原 素紀（指導教員）

5. Cu-Zn合金の組成の違いと音色の関係（HSP8）

佐賀県立佐賀西高等学校 松高 和奏 九州大学 松野 真樹 齋藤 直也 河邊 崇徳 森下 浩平（指導教員）

6. 卑な元素を添加した際のミディアムエントロピー合金の耐食性変化（HSP9）

兵庫県立夢野台高等学校 柴田 萌愛 神戸大学 田中 克志（指導教員） 池尾 直子（指導教員）

7. 水切りにおける液体の密度と跳躍確率の関係（HSP15）

北海道北見北斗高等学校 大関 健斗 木村 颯翔 佐野 匠飛 西村 颯泰 高田 恵吾

8. 電池型金樹作成への挑戦（HSP16）

東京都立小石川中等教育学校 三宅 明信 加藤 優太（指導教員）

⑱第32回日本金属学会・日本鉄鋼協会奨学賞（43名）

2024年3月、各大学および高専の卒業時に各機関において贈賞

京都大学工学部 新井 敦郎

香川大学創造工学部 池田 凱琳

早稲田大学基幹理工学部 石田 凜太郎

熊本大学工学部	石嶺	伝秦
兵庫県立大学工学部	稲村	慧
名古屋工業大学工学部	江田	登和
名古屋大学工学部	大井	脩司
東北大学工学部	岡崎	由芽
芝浦工業大学工学部	小川	晃弘
東北大学工学部	折原	周平
東京工業大学物質理工学院	加賀	大暉
九州工業大学工学部	神谷	大輝
名古屋大学工学部	川本	玲央
東北大学工学部	姜	明均
関西大学化学生命工学部	岸本	桜司郎
東京大学工学部	許	マイケル
茨城大学工学部	佐藤	李行
芝浦工業大学工学部	下津曲	響
九州大学工学部	白澤	桃花
東海大学工学部	須永	健斗
近畿大学理工学部	高瀬	和人
長岡技術科学大学工学部	竹内	克成
愛媛大学工学部	中江	友哉
群馬大学理工学部	長竹	真吾
横浜国立大学理工学部	中野	智哉
東京工業大学物質理工学院	西井	涼音
東京理科大学先進工学部	西岡	宏祐
豊橋技術科学大学工学部	西中	悠真
金沢工業大学工学部	西峰	大暁
東京大学工学部	西村	有紗
千葉工業大学工学部	西村	美咲
金沢大学理工学域	二宮	凜太郎
島根大学総合理工学部	野津	直人
富山大学都市デザイン学部	藤村	彩和
大阪府立大学工学域	藤原	照巳
岩手大学理工学部	北條	大輝
九州大学工学部	松尾	秦之介
北海道大学工学部	宮坂	郁之祐
大阪大学工学部	宮澤	啓太郎
北海道大学工学部	矢澤	智也
京都大学工学部	山田	隼哉
大阪大学工学部	山野	大陸
秋田大学理工学部	吉田	祐梨

⑬第19回JIM Young Leader International Scholar Award (1名)

2024年8月5日決定

京都大学 特定准教授 輕部 修太郎

4) 特記事項

- ・春授賞、秋授賞ともに贈呈式を行った。
- ・奨励賞および村上奨励賞推薦資格を「本会代議員 1 名または講演大会委員 1 名もしくは正員 3 名」から、「本会代議員 1 名または調査研究委員 1 名もしくは正員 3 名」と変更した。
- ・短期大学も含め、幅広い教育機関からの推薦を受け入れることを可能とするため、奨学賞規程および規則に、「・・・短期大学および高等専門学校等とする。」「その他、上記に準じる学生」の文言を含めた。

5) 支部表彰事業

①北海道支部（3件）

表彰名	開催日	場所	受賞者数
奨励賞	2024年7月12日	(札幌市) 北海道大学	3名
佐藤矩康賞	2024年7月12日	(札幌市) 北海道大学	1名
奨励賞	2025年1月24日	(室蘭市) アパホテル室蘭	2名

②東北支部（4件）

表彰名	開催日	場所	受賞者数
未来の金属博士賞	2024年7月22日	(仙台市) 東北大学	1名
最優秀ポスター賞	2024年12月4日	(弘前市) 弘前大学	2名
優秀ポスター賞	2024年12月4日	(弘前市) 弘前大学	7名
ポスター奨励賞	2024年12月4日	(弘前市) 弘前大学	12名

③関東支部（1件）

表彰名	開催日	場所	受賞者数
第20回 ヤングメタラジスト研究 交流会 優秀ポスター賞	2024年11月21日	(君津市) 日本製鉄株式会社 東日本製鉄所 技術開発本部 RE センター本 館ホール	3名

④東海支部（2件）

表彰名	開催日	場所	受賞者数
優秀ポスター賞	2024年11月15日	(豊橋市) 豊橋市民センター	12名
支部功績・功労・奨励賞	2024年3月22日	(名古屋市) 名古屋大学	6名

⑤北陸信越支部（1件）

表彰名	開催日	場所	受賞者数
優秀学生表彰	2024年11月29日	(長野市) 信州大学	5名

⑥関西支部（2件）

表彰名	開催日	場所	受賞者数
優秀学生表彰(鉄鋼プロセス 研究会、材料化学研究会)	2025年1月21日	京都大学 吉田キャンパス 国際科学イノベーション棟	5名
優秀学生表彰(関西分析研究 会)	2024年7月8日 2025年1月30日	(WEB開催) 龍谷大学 大宮キャンパス	9名

⑦中国四国支部（1件）

表彰名	開催日	場所	受賞者数
優秀学生表彰	2024年12月5日	(岡山市) ピュアリティまき び	4名

⑧九州支部(4件)

行事	開催日	会場	講演件数	参加者数
特別講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2024年4月19日	オンライン	4件	96名
合同学術講演会 日本鉄鋼協会, 軽金属学会と 合同開催	2024年6月1日	(春日市) 九州大学 筑紫キャンパス	104件	196名
秋季講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2024年10月25日	(北九州市) 日本製鉄 (株)八幡地区 人材育成センター	5件	55名
本多記念講演会 日本鉄鋼協会と合同開催	2024年10月25日	(北九州市) 日本製鉄 (株)八幡地区 人材育成センター	1件	55名

Ⅱ. 庶務の概要

1. 2024年度事業に関する諸会議・諸集会一覧

(直接会合およびWeb会議のみ記載)

会 議	開催回数	議長、委員長
社員総会	1	榎 学
理事会	7	榎 学
監事監査	1	後藤 光宏
企画委員会	5	榎 学
会報編集委員会	6	田中 秀明
会誌編集委員会	6	佐藤 英一
欧文誌編集委員会	6	堀田 善治
学術図書類刊行委員会	0	枝川 圭一
講演大会委員会	4	林 重成
講演大会企画委員会	4	林 重成
本多記念講演委員会	1	林 重成
セミナー・シンポジウム委員会	5	及川 勝成
調査研究委員会	2	木村 好里
調査研究推進委員会	2	木村 好里
国際学術交流委員会	2	河村 能人
名誉員検討委員会	1	吉永 直樹
各種賞検討委員会	5	小山 敏幸
学会賞選考委員会	1	榎 学
技術賞選考委員会	1	小山 敏幸
技術開発賞選考委員会	1	小山 敏幸
金属組織写真賞選考委員会	1	小山 敏幸
研究技能功労賞選考委員会	1	小山 敏幸
功績賞選考委員会	1	小山 敏幸
奨励賞選考委員会	1	小山 敏幸
谷川・ハリス賞選考委員会	1	小山 敏幸
フェロー選考委員会	1	榎 学
増本量賞選考委員会	1	小山 敏幸
まてりあ賞選考委員会	1	小山 敏幸
村上記念賞選考委員会	1	小山 敏幸
村上奨励賞選考委員会	1	小山 敏幸
優秀ポスター賞選考委員会	2	林 重成
論文賞選考委員会	1	小山 敏幸
新進論文賞選考委員会	1	小山 敏幸
特別功労賞選考委員会	1	小山 敏幸
戦略推進委員会	0	木村 好里
科研費委員会	0	木村 好里
人材育成委員会	0	中野 貴由
男女共同参画委員会	2	上田 正人
セルフガバナンス委員会	0	榎 学

長期展望委員会	0	杉本 諭
広報委員会	3	宮本 吾郎
他学協会連携の会議	開催回数	本会代表等
材料連合協議会	0	—
Materials Transactions共同刊行編集委員会	4	堀田 善治
材料戦略委員会	0	—
材料戦略企画委員会	0	—
日本金属学会・日本鉄鋼協会男女共同参画委員会	2	上田 正人

支部活動一覧

支 部	所在地	支部長	支部諸会議*	講演会・講習会(本多光太郎記念講演会含む)	研究会	見学会	表彰
北海道	札幌	上田 幹人	4	4	0	0	3
東北	仙台	福山 博之	1	9	1	0	4
関東	東京	藤居 俊之	1	1	1	1	1
東海	名古屋	戸高 義一	4	4	3	0	2
北陸信越	富山	井藤 幹夫	3	7	2	1	1
関西	大阪	奥田 浩司	3	4	4	0	2
中国四国	広島	岡田 達也	2	3	5	0	1
九州	熊本	金子 賢治	5	4	5	0	4
計			23	36	21	2	18

*支部会議、支部委員会等

2. 役員等に関する事項

1) 役員 (2025年2月28日現在)

職名	常勤・ 非常勤	氏名	就任年月日	担当職務	報酬	勤務先
理事	非常勤	枝川 圭一	2023年4月21日	刊行事業	なし	東京大学生産技術研究所
理事	非常勤	榎 学	2023年4月21日	会長	なし	東京大学大学院工学系研究科
理事	非常勤	及川 勝成	2023年4月21日	講演会・講習会事業	なし	東北大学大学院工学研究科
理事	非常勤	大野 宗一	2023年4月21日	調査・研究事業	なし	北海道大学大学院工学研究院
理事	非常勤	加藤 秀実	2023年4月21日	会計	なし	東北大学金属材料研究所
理事	非常勤	茅野 林造	2023年4月21日	庶務	なし	(株)日本製鋼所新事業推進本部
理事	非常勤	河村 能人	2023年4月21日	調査・研究事業	なし	熊本大学先進マグネシウム国際 研究センター
理事	非常勤	木村 好里	2023年4月21日	調査・研究事業	なし	東京科学大学物質理工学院
理事	非常勤	児島 洋一	2023年4月21日	庶務	なし	(株)UACJ R&Dセンター
理事	非常勤	小山 敏幸	2023年4月21日	表彰・奨励事業	なし	名古屋大学大学院工学研究科
理事	非常勤	高村 仁	2023年4月21日	庶務	なし	東北大学大学院工学研究科
理事	非常勤	中野 貴由	2023年4月21日	庶務、調査・研究事業	なし	大阪大学大学院工学研究科
理事	非常勤	長滝 康伸	2023年4月21日	庶務	なし	JFEスチール(株)スチール研究所
理事	非常勤	波多 聡	2023年4月21日	庶務	なし	九州大学大学院総合理工学研究 院
理事	非常勤	林 重成	2023年4月21日	講演会・講習会事業	なし	北海道大学大学院工学研究院
理事	非常勤	松田 健二	2023年4月21日	表彰・奨励事業	なし	富山大学学術研究部
理事	非常勤	松本 洋明	2023年4月21日	庶務	なし	香川大学創造工学部
理事	非常勤	安田 秀幸	2023年4月21日	調査・研究事業	なし	京都大学大学院工学研究科
理事	非常勤	安田 弘行	2023年4月21日	講演会・講習会事業	なし	大阪大学大学院工学研究科
理事	非常勤	吉永 直樹	2023年4月21日	表彰・奨励事業	なし	日本製鉄(株)技術開発本部
専務 理事	常勤	谷山 明	2024年4月25日	庶務、会計、刊行事業	なし	日本金属学会
監事	非常勤	後藤 光宏	2023年4月21日		なし	住友電気工業(株)アドバンストマ テリアル研究所
監事	非常勤	正橋 直哉	2023年4月21日		なし	東北大学金属材料研究所

2)代議員

代議員総数 78 名(2025 年 2 月 28 日時点)

北海道地区 3 名

- 1 大野 宗一 北海道大学大学院工学研究院教授
- 2 橋本 直幸 北海道大学大学院工学研究院教授
- 3 林 重成 北海道大学大学院工学研究院教授

東北地区 7 名

- 1 及川 勝成 東北大学大学院工学研究科教授
- 2 加藤 秀実 東北大学金属材料研究所教授
- 3 亀岡 聡 東北大学多元物質科学研究所教授
- 4 齋藤 嘉一 秋田大学大学院理工学研究科教授
- 5 高村 仁 東北大学大学院工学研究科教授
- 6 野村 直之 東北大学大学院工学研究科教授
- 7 平塚 貞人 岩手大学理工学部物理・材料理工学科教授

関東地区 29 名

- 1 石橋 良 (株)日立製作所研究開発グループ主任研究員
- 2 伊藤 公久 早稲田大学理工学術院基幹理工学部 教授
- 3 韋 富高 日本冶金工業(株)技術研究所部長
- 4 上路 林太郎 物質・材料研究機構構造材料研究拠点主幹研究員
- 5 枝川 圭一 東京大学生産技術研究所第 1 部教授
- 6 榎 学 東京大学大学院工学系研究科教授
- 7 大村 朋彦 日本製鉄(株)技術開発本部主席研究員
- 8 長田 俊郎 物質・材料研究機構構造材料研究拠点主幹研究員
- 9 梶谷 敏之 日本製鉄(株)技術開発本部部長
- 10 荻谷 義治 芝浦工業大学工学部教授
- 11 北薊 幸一 東京都立大学システムデザイン学部教授
- 12 木村 好里 東京工業大学物質理工学院教授
- 13 小山 和也 千葉工業大学工学部教授
- 14 佐藤 成男 茨城大学大学院理工学研究科教授
- 15 柴田 暁伸 物質・材料研究機構構造材料研究拠点グループリーダー
- 16 多田 英司 東京工業大学物質理工学院教授
- 17 田村 隆治 東京理科大学先進工学部教授
- 18 土屋由美子 東芝エネルギーシステム(株)エネルギーシステム技術開発センターエキスパート
- 19 堤 祐介 物質・材料研究機構構造材料研究拠点主席研究員
- 20 寺前 俊哉 (株)プロテリアルグローバル技術革新センター技師長
- 21 野田 和彦 芝浦工業大学工学部教授
- 22 林 幸 東京工業大学物質理工学院教授
- 23 平田 秋彦 早稲田大学大学院基幹理工学研究

- 24 廣澤 渉一 横浜国立大学大学院工学研究院教授
- 25 松野 泰也 千葉大学大学院融合理工学府教授
- 26 宮澤 靖幸 東海大学工学部機械工学科教授
- 27 遊佐 覚 (株)IHI 技術基盤センター材料・構造グループ主幹
- 28 横田 毅 JFE スチール(株)薄板セクター部主任部員 (部長)
- 29 吉田 英弘 東京大学大学院工学系研究科教授

東海地区 8 名

- 1 東 昌史 日本製鉄(株)技術開発本部室長
- 2 小山 敏幸 名古屋大学大学院工学研究科教授
- 3 嶋 睦宏 岐阜大学工学部教授
- 4 戸高 義一 豊橋技術科学大学大学院工学研究科教授
- 5 濱田 典彦 愛知製鋼(株)開発本部主査
- 6 前嶋 貴士 (株)豊田中央研究所データ駆動型プロセス研究領域主任研究員
- 7 松本 章宏 産業技術総合研究所磁性粉末冶金研究センター主任研究員
- 8 渡辺 義見 名古屋工業大学物理工学科教授

北陸信越地区 5 名

- 1 大鳥 範和 新潟大学理学部教授
- 2 榊 和彦 信州大学学術研究院(工学系)教授
- 3 福元 謙一 福井大学附属国際原子力工学研究所教授
- 4 松田 健二 富山大学学術研究部教授
- 5 渡邊 千尋 金沢大学理工研究域教授

関西地区 12 名

- 1 岸田 恭輔 京都大学大学院工学研究科准教授
- 2 瀧川 順庸 大阪府立大学大学院工学研究科教授
- 3 鳥塚 史郎 兵庫県立大学大学院工学研究科教授
- 4 仲井 正昭 近畿大学理工学部教授
- 5 中野 貴由 大阪大学大学院工学研究科教授
- 6 西山 佳孝 日本製鉄(株)技術開発本部部長
- 7 春名 匠 関西大学化学生命工学部教授
- 8 藤原 弘 立命館大学理工学部教授
- 9 村上 俊夫 (株)神戸製鋼所技術開発本部室長
- 10 安田 秀幸 京都大学大学院工学研究科教授
- 11 安田 弘行 大阪大学大学院工学研究科教授
- 12 山本 隆一 三菱重工業(株)総合研究所製造研究部主席研究員

中国四国地区 5 名

1 岡田 達也	徳島大学大学院社会産業理工学研究部機械科学系教授	3 波多 聡	九州大学大学院総合理工学研究院教授
2 陳 中春	鳥取大学大学院工学研究科教授	4 宮原 広郁	九州大学大学院工学研究院教授
3 濱田 純一	日鉄ステンレス(株)研究センター室長（部長）	5 村上 恭和	九州大学大学院工学研究院主幹教授
4 松木 一弘	広島大学大学院 先進理工系科学研究科機械工学プログラム教授	本部枠 4 名	
5 松本 洋明	香川大学創造工学部先端材料科学領域教授		
九州地区 5 名		茅野 林造	(株)日本製鋼所新事業推進本部副本部長
1 河村 能人	熊本大学先進マグネシウム国際研究センターセンター長・教授	児島 洋一	(株)UACJ R&D センター副所長
2 高須登実男	九州工業大学大学院工学研究院教授	長滝 康伸	JFE スチール(株)スチール研究所研究技監
		吉永 直樹	日本製鉄(株)フェロー

3. 職員に関する事項

職 名	常勤・非常勤	採用年月日	担当事務	備考
事務局長	常勤	令和5年4月1日	総括、調査・研究事業	
主任	常勤	平成4年4月20日	刊行事業	
主任	常勤	平成5年4月1日	表彰・奨励事業、総務、刊行事業	
主任	常勤	平成10年4月1日	講演会・講習会事業、調査・研究事業	
副主任	常勤	平成3年7月1日	経理、会員サービス	
副主任	常勤	平成29年10月1日	刊行事業	
職員	常勤	令和6年4月1日	講演会・講習会事業	

4. 会議等に関する事項

①理事会

回	開催年月日	開催地	主な協議事項	会議の結果
962	2024年4月8日	東京 および web	2023年度事業報告決定の件、第88 回定時社員総会協議事項確認の件、入会承認の件、2023年度決算書類決定の件、支部における金属学会・鉄鋼協会の共催事業の費用分担比率見直しの件、ポスター賞規則改定の件、秋授賞選考委員決定の件、特別功労賞受賞者候補者決定の件、村上奨励賞、奨励賞規程改訂の件	全会一致で承認
963	2024年4月25日	東京 および web	2024年度の業務執行理事の業務分担の決定の件、2024年度の任意の合議機関の委員長、副委員長の決定の件、任意の合議機関の構成員選任の件、2024年度の理事会および主な関連会合日程の件、関西支部予算増額の件	全会一致で承認
964	2024年6月12日	東京 および web	入会承認の件、支部委員追加の件、令和7年度科学技術分野の文部科学大臣表彰（若手科学者賞）授賞候補者推薦の件、秋の各種賞受賞者決定の件、奨学賞規程改訂の件、第70回学会賞候補者決定の件、第70回学会賞選考委員決定の件	全会一致で承認
965	2024年8月5日	東京 および web	2025, 2026年度代議員選挙の件、代議員選挙の選挙管理委員会委員募集の件、2025, 2026年度監事選挙の件、入会承認の件、会誌投稿規程改訂の件、欧文誌投稿規程改訂の件、第70 回本多記念講演講師決定の件、講演大会委員会規程および講演大会企画委員会規程の一部改定の件、講演概要査読規程の一部改定の件、第5 回日本金属学会フロンティア研究助成採択決定の件、調査研究委員会規程および調査研究推進委員会規程の一部改定の件、産学協創研究会規程の一部改定の件、科学研究費助成事業の全体額増加に関する要望書及び署名活動の件、第19回 JIM/TMS Young Leader International Scholar Program の本会派遣者決定の件、Indian Institute of Metals (IIM) との交流の件、2025年春授賞の選考委員の決定の件、第70回学会賞授賞者決定の件	全会一致で承認

966	2024年10月11日	東京 および web	入会承認の件、外部理事・外部監事の選出の件、会長・副会長候補者選挙方針の件、鉄鋼協会との共催事業の両会負担割合に関する件、細則改訂の件、会誌投稿規程改訂の件、欧文誌投稿規程改訂の件、セミナー・シンポジウム委員会規程の一部改定の件、インドIIMとの学術交流に関する件、PRICM-12のIn-Country Representative選任の件、名誉員推戴者決定の件	全会一致で承認
967	2024年12月6日	福井 および web	2025, 2026年度代議員選挙の選挙管理委員選定対応の件、2025, 2026年度監事選挙の件、2025, 2026年度理事候補者選挙の件、2025, 2026年度理事選挙および会長・副会長選挙の選挙管理委員選定対応の件、本部枠代議員からの2025, 2026年度副会長の選出の件、2025年度事業計画の基本方針決定の件、入会承認の件、永年会員承認の件、事業参加費規程の改訂の件、会誌投稿規程改訂の件、欧文誌投稿規程改訂の件、MRS台湾との学術交流に関する件、日本鉄鋼協会・日本金属学会男女共同参画委員会規程改定の件、春期授賞者及び授賞論文の決定の件、フェロー選考委員の決定の件、授賞メダル仕様変更の件	全会一致で承認
968	2025年2月10日	東京 および web	2025年度事業計画書決定の件、2025年度収支予算書決定の件、2024事業年度に関する定時社員総会招集の件、定款・細則改訂の件、入会承認の件、支部予算の件、山田科学振興財団 研究援助申請推薦の件、登記内容変更の件、人事公募の配信・掲載の件、旅費支給規程改訂の件、会誌投稿規程改訂の件、欧文誌投稿規程改訂の件、外部理事候補者の件、専務理事候補者の件、産学協創研究会の件、2025年度新規研究会決定の件、2025年度新規若手研究グループ決定の件、台湾MRS-Tとの国際交流に関する件、第33回奨学賞授賞候補者決定の件、第8回フェロー認定者決定の件	全会一致で承認

②社員総会

開催年月日	開催地	報告および協議事項	会議の結果
2024年4月25日	東京 および web	1. 2023年度事業報告および事業報告の附属明細書の報告の件 2. 2023年度決算の承認の件 3. 2024年度理事の選任の件 4. 定款改訂の件 5. 会員に関する規程の改訂の件	満場一致で承認 満場一致で承認 満場一致で承認 満場一致で承認

③監事監査

開催年月日	開催地	主な監査事項	会議の結果
2024年4月4日	仙台	2023年度の業務および財産の状況についての監査	全会一致で承認

5. 各種委員会に関する事項

1) 本会

①企画委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2024年5月24日	仙台&web	著作権の使用に関する件 材料横断基礎研究会(仮称)の団体会費制度導入の件 支部における鉄鋼協会との共催事業の費用負担の件 資産運用状況の件	全会一致で承認 継続審議 継続審議 全会一致で承認
2024年7月18日	web	産学協創研究会規程改訂の件 国際交流に関する件 科学研究費助成事業の全体額増加に関する要望書及び署名活動への対応の件	全会一致で承認 一部継続審議 全会一致で承認
2024年9月11日	web	2025年・2026年度理事・監事選出および会長・副会長候補者選挙方針の件 国際交流に関する件(IIMとのMOUの件)	全会一致で承認 全会一致で承認
2024年11月25日	web	2025年度、2026年度理事候補者選挙方針および細則変更の件、本部幹代議員から副会長の選出の件、監事選出、選挙管理委員長選出の件、授賞メダル仕様変更の件 国際交流に関する件(MRS-TとのMOUの件)	全会一致で承認 継続審議
2025年1月24日	web	専務理事候補者の件、外部理事候補者の件、定款・細則改訂の件、社員総会議事の件、支部予算の件、国際交流に関する件(MRS-TとのMOUの件)、人事公募の配信・掲載の件 産学協創研究会の件(新規研究会の件)	全会一致で承認 継続審議

②会報編集委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2024年3月13日	東京理科大	第63巻 第5号、6号掲載記事、執筆依頼採択、編集年間計画、2024年4月～2025年3月期 会報編集委員会方針	全会一致で承認
2024年5月27日	web	第63巻7号、8号掲載記事、執筆依頼採択、特集企画の決定、第14回までア賞の候補論文および記事の決定、ユース会員への対応、顕微鏡特集企画について	全会一致で承認
2024年7月26日	web	第63巻9号、10号掲載記事、執筆依頼採択、特集企画、顕微鏡特集企画化の決定、書評掲載、外注企画数の削減について	全会一致で承認
2024年9月17日	web	第63巻11号、12号掲載記事、執筆依頼採択、企画編集状況、までアアンケート実施について、編集委員の改選	全会一致で承認
2024年11月26日	web	2025年度事業計画・編集方針、第64巻1号、2号掲載記事、執筆依頼採択、スポットライト記事の勧誘数削減について、特集企画、プロジェクト報告企画、までアアンケートの実施	全会一致で承認
2025年1月20日	web	第64巻3号、4号掲載記事、執筆依頼採択、特集企画、2025	全会一致で承認

		年, 2026年のWhat 's 技術士企画、企画編集進捗、書評依頼	
--	--	------------------------------------	--

③会誌編集委員会・欧文誌編集委員会合同編集委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2024年3月29日	web	次期(2024～2025年度)編集委員長の選出、編集委員の改選、欧文誌投稿・審査システムの改善 編集委員長・副委員長の選出に関する内規作成	全会一致で承認 継続審議
2024年5月31日	web	速報論文・Rapid Publicationの翻訳投稿期間延長、Materials Transactions掲載論文の著作権表示および転載許可手続き変更、投稿審査システムの見直し・改善	全会一致で承認
2024年7月28日	web	IF 2023、図表のカラー代金廃止、Current Trends in Research／最近の研究動向カテゴリのページ数の上限の改訂、Impact Factor向上WG委員の選出、会誌印刷の一般競争入札 分野分類表示の見直し、電子付録を掲載可能とすることについて	全会一致で承認 継続審議
2024年9月30日	web	クリエイティブ・コモンズライセンスに準拠して、オープンアクセスとする論文の表示方法の決定、電子付録を掲載可能とすることについて、オーバービューの新規提案 公的予算での研究に学術論文の即時無料公開を義務づけられることについての意見交換	全会一致で承認 継続審議
2024年11月19日	web	投稿規程の改訂、投稿数増加に向けた提案への対応、重複率チェック結果のファイルを査読用PDFに加え、重複箇所を査読者が把握できるようにすることについて、欧文誌投稿・審査システムにおける担当編集委員の審査フォームの改訂、 投稿論文のページ数の上限の変更 公的予算での研究成果のオープンアクセス出版義務付けへの対応、投稿論文のページ数の上限の解釈の変更、海外編集委員の改選	全会一致で承認 継続審議
2025年1月30日	web	公的予算での研究成果のオープンアクセス出版義務付けへの対応としてオープンアクセスを可能とすることについて、Top Cited Certificate授与者決定、Best Reviewer Certificate授与者決定 会誌副委員長および欧文誌副委員長選任、海外編集委員の改選、AI利用許諾委託について	全会一致で承認 継続審議

④学術図書類刊行委員会

開催なし

⑤講演大会委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2024年3月28日	web	2024 年秋期講演大会公募シンポジウム決定、2024 年秋期講演大会企画シンポジウム決定、高校生ポスター開催日程、講演大会のハイブリッド開催、ポスター賞規則改定	全会一致で承認
2024年5月30日	web	若手研究者の懇親会、高校生ポスターの今後の活用	継続審議
2024年9月17日	大阪	2025年春期講演大会公募シンポジウム決定、2025年春期講演大会企画シンポジウム決定	全会一致で承認
2024年11月7日	web	ポスター賞規則改定、高校生ポスター運営方針改定、次期講演大会委員選出候補者決定、次期正副委員長、幹事および構成員選出日程	全会一致で承認

⑥講演大会企画委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2024年5月15日	mail	2024年秋期講演大会招待講演の件	全会一致で承認
2024年7月31日	web	講演時間ルール変更の決定、講演大会委員会規程および講演大会企画委員会規程改定、次期講演大会委員選出方針の決定	全会一致で承認
2024年11月14日	mail	2025年春期講演大会招待講演者	全会一致で承認
2025年1月23日	東京	次期講演大会委員会委員構成員決定、講演大会モバイルアプリ導入決定、広報委員会からの2025年秋期講演大会における学生向けイベント企画承認、2025年秋期講演大会国際シンポジウムテーマ決定	全会一致で承認

⑦本多記念講演委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2024年7月5日	mail	第70回本多記念講演講師最終候補者および次点者の決定	全会一致で承認

⑧セミナー・シンポジウム委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2024年3月26日	web	オンライン教育講座の維持員会社社員の複数申込割引料金の決定、オンライン教育講座講師のまてりあからの執筆依頼、オンライン教育講座基礎講座シリーズ設置	全会一致で承認
2024年6月14日	web	2025年度オンライン教育講座開催テーマ、次期委員選出方針、セミナー・シンポジウム委員会規程改定 オンライン教育講座基礎講座シリーズのシラバス	全会一致で承認 継続審議
2024年8月20日	mail	セミナー・シンポジウム委員会規程改定	全会一致で承認
2024年11月22日	web	2025年度オンライン教育講座開催時期 2025年度オンライン教育講座オンデマンド配信予定、 オンライン教育講座基礎講座シリーズのシラバスおよび準備	継続審議 全会一致で承認

2025年1月30日	web	2025年度オンライン教育講座開催時期の確定、次期セミナー・シンポジウム委員決定、次期委員への申し送り事項	全会一致で承認
------------	-----	---	---------

⑨調査研究委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2024年3月27日	web	2024年度研究会、若手研究グループの活動費	全会一致で承認
2024年10月4日	web	2025年度新規研究会申請、2025年度若手研究グループ新規申請、研究会規則の改定	全会一致で承認

⑩調査研究推進委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2024年7月25日	web	第5回フロンティア研究助成の採択、第4回フロンティア研究助成採択済み申請の研究中止と助成金返還	全会一致で承認
2025年1月26日	東京	2025年度研究会の新規申請の採択、2025年度若手研究グループ新規申請の採択、2025年度分科活動計画書兼予算書承認、次期調査研究委員会および調査研究推進委員構成員決定、フロンティア研究助成応募申請の支出明細における旅費の割合	全会一致で承認

⑪国際学術交流委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2024年7月9日～22日	mail	第19回JIM/TMS Young Leader派遣候補者決定	全会一致で承認
2024年12月27日～2025年1月16日	mail	2025年秋の講演大会における国際シンポジウム（KIM-JIMMシンポジウム共催）の開催テーマ決定、TMSからのYoung Leader Scholarship派遣者の来日時期変更申入れ	全会一致で承認

⑫名誉員検討委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2024年10月11日	東京 & web	名誉員候補者の協議、2025年度推戴の名誉員候補者の決定	全会一致で承認

⑬各種賞検討委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2024年4月8日	東京 & web	2024年秋賞の候補者・候補論文及び選考委員の決定、特別功労賞の受賞候補者の決定、村上奨励賞および奨励賞規程・規則改訂	全会一致で承認
2024年6月12日	東京 & web	2024年秋期受賞者候補者および受賞候補論文・記事の決定、奨学賞規程および規則改訂	全会一致で承認
2024年8月5日	東京 & web	2025年春賞候補者および選考委員の決定	全会一致で承認
2024年12月6日	福井 & web	2025年春賞の受賞候補者および受賞候補作品の決定、奨学賞の推薦校および受賞候補者数の決定	全会一致で承認

2025年2月10日	東京 & web	奨学賞受賞候補者の決定	全会一致で承認
------------	-------------	-------------	---------

⑭学会賞選考委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2024年7月17日	mail	第70回学会賞受賞者の決定	全会一致で承認

⑮優秀ポスター賞選考委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2024年3月14日	東京	第42回優秀ポスター賞選考	全会一致で承認
2024年9月19日	大阪	第43回優秀ポスター賞選考	全会一致で承認

⑯人材育成委員会

開催なし

⑰セルフガバナンス委員会

開催なし

⑱科研費委員会

開催なし

⑲長期展望委員会

開催なし

⑳広報委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2024年5月9日	web	若手研究者同士の交流、ネットワーク形成の場を提供する提案、産業界との連携強化に向けた取り組み提案、情報発信の継続、強化に関する検討結果として学会HPに対する指摘、アウトリーチ活動強化のための提案について協議	継続協議
2024年9月30日	web	「学生ポスター発表プレ討論会」、「企業ランチョンセミナー」、「高校生向けランチョンセミナー」、学会HP更新案の具体案を協議	継続協議
2024年12月2日	web	「学生ポスター発表プレ討論会」、「企業ランチョンセミナー」、「高校生向けランチョンセミナー」実施案の決定	全会一致で承認

2) 他学協会連携

①Materials Transactions共同刊行編集委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2024年5月22日	web	投稿・審査システム見直し	全会一致で承認
		和文論文がオープンアクセスの英訳論文は転載の許諾	継続協議

		手続きを不要とすること、Rapid Publicationの和文掲載済み論文の英訳	
2024年8月29日	web	IF2023報告およびIF向上対策 クリエイティブ・コモンズライセンスに準拠して、オープンアクセスとする論文の表示方法、電子付録を掲載可能とすることについて、公的予算での研究に学術論文の即時無料公開を義務づけられることについて	全会一致で承認 継続協議
2024年11月27日	web	クリエイティブ・コモンズライセンスに準拠してオープンアクセスとする論文の表示方法、投稿論文のページ数の上限の変更、欧文誌投稿・審査システムにおける担当編集委員の審査フォームの改訂、重複率チェック結果のファイルを査読用PDFに加え、重複箇所を査読者が把握できるようにすることについて、電子付録を掲載可能とすることについて 投稿論文の分野分類表示、欧文誌投稿・審査システムにおける担当編集委員の審査フォームの改訂、公的予算での研究成果のオープンアクセス出版義務付けへの対応	全会一致で承認 継続協議
2025年2月21日	web	公的予算での研究成果のオープンアクセス出版義務付けへの対応としてオープンアクセスを可能とすることについて、Top Cited Certificate授与者決定、Best Reviewer Certificate授与者決定、投稿論文の分野分類表示、審査状況の問合せ方法見直し 和文掲載済み論文のMaterials Transactions への投稿、AI利用許諾委託について	全会一致で承認 継続協議

②材料戦略委員会

開催なし

③材料戦略企画委員会

開催なし

④日本金属学会・日本鉄鋼協会男女共同参画委員会

開催年月日	開催地	主な協議事項	協議結果
2024年3月14日	東京	2023年度決算および2024年度予算、第13回女性会員の集い(2024年秋大会)の分担	全会一致で承認
2024年9月19日	大阪	第15回ランチョンミーティング実施について、第14回女性会員の集い実施について、日本金属学会次期委員改編について	全会一致で承認

6. 広報に関する事項

①広報委員会

(オンライン) 2024年5月9日、2024年9月30日、2024年12月2日

・「学生ポスター発表プレ討論会」、「企業ランチョンセミナー」、「高校生向けランチョンセミナー」、学会HP更新案を協議し、「学生ポスター発表プレ討論会」、「企業ランチョンセミナー」、「高校生向けランチョンセミナー」の実施案、HP更新案の具体案を決定した。

7. 電子公告に関する事項

2024年5月31日 2023年度事業報告・決算書
2024年7月24日 一般競争入札公告（日本金属学会誌）

8. 契約に関する事項

覚書等は除く

契約年月日	契約相手先	契約の概要
2024年8月23日	株式会社リクルートスタッフィング [※]	派遣個別契約
2024年8月29日	株式会社リクルートスタッフィング [※]	派遣個別契約
2024年9月30日	株式会社福田印刷	日本金属学会誌製本印刷契約
2024年10月3日	古川直磨公認会計士事務所	監査契約
2024年11月7日	ミロク情報サービス	給与・マイナンバー管理システム契約
2024年12月25日	三菱HCビジネスリース（株）	給与システムリース契約

9. 行政庁からの連絡事項および行政庁への報告事項等

なし

＊公益認定委員会だよりの発行連絡および定期提出書類の提出案内および提出等を除く。

10. その他重要事項

①登記に関する事項

2024年5月14日 理事変更登記

②行政庁への届出事項

なし

11. 特記事項

なし

事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に定める「事業報告の内容を補足する重要な事項」は次のとおりである。

理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他一般法人の業務の適正を確保するために必要なものとして法務省令で定める体制の整備に関する補足重要事項のうち、本会は定款、細則および規程の制定および改廃ならびに任意の合議機関の新設および改廃を記載する。

(1) 規程の制定および改廃

1) 庶務関係

①定款改訂	2024 年 4 月 25 日	第 88 回定時社員総会決議
②会員に関する規程改訂	2024 年 4 月 25 日	第 88 回定時社員総会決議
③細則改訂	2024 年 10 月 11 日	第 966 回理事会決議

2) 会計関係

①事業参加費規程改訂	2024 年 12 月 6 日	第 967 回理事会決議
②旅費支給規程改訂	2025 年 2 月 10 日	第 968 回理事会決議

3) 事業共通

なし

4) 刊行事業関係

①日本金属学会誌投稿規程改訂	2024 年 8 月 5 日	第 965 回理事会決議
②Materials Transactions 投稿規程改訂	2024 年 8 月 5 日	第 965 回理事会決議
③日本金属学会誌投稿規程改訂	2024 年 10 月 11 日	第 966 回理事会決議
④Materials Transactions 投稿規程改訂	2024 年 10 月 11 日	第 966 回理事会決議
⑤日本金属学会誌投稿規程改訂	2024 年 12 月 6 日	第 967 回理事会決議
⑥Materials Transactions 投稿規程改訂	2024 年 12 月 6 日	第 967 回理事会決議
⑦日本金属学会誌投稿規程改訂	2025 年 2 月 10 日	第 968 回理事会決議
⑧Materials Transactions 投稿規程改訂	2025 年 2 月 10 日	第 968 回理事会決議

5) 講演会・講習会事業関係

①講演大会委員会規程改訂	2024 年 8 月 5 日	第 965 回理事会決議
②講演大会企画委員会規程改訂	2024 年 8 月 5 日	第 965 回理事会決議
③講演概要査読規程改訂	2024 年 8 月 5 日	第 965 回理事会決議
④セミナー・シンポジウム委員会規程改訂	2024 年 10 月 11 日	第 966 回理事会決議

6) 調査・研究事業関係

①調査研究委員会規程改訂	2024 年 8 月 5 日	第 965 回理事会決議
②調査研究推進委員会規程改訂	2024 年 8 月 5 日	第 965 回理事会決議
③産学協創研究会規程改訂	2024 年 8 月 5 日	第 965 回理事会決議
④男女共同参画委員会規程改訂	2024 年 12 月 6 日	第 967 回理事会決議

7) 表彰・奨励事業関係

①村上奨励賞規程改訂	2024 年 4 月 8 日	第 962 回理事会決議
②奨励賞規程改訂	2024 年 4 月 8 日	第 962 回理事会決議
③奨学賞規程改訂	2024 年 6 月 12 日	第 964 回理事会決議

8) 支部関係

なし

9) 事務局関係

なし

(2) 任意の合議機関の新設および改廃

なし

社員および会員の異動状況報告書

1. 社員の異動状況書

2025 年 2 月 28 日現在

社 員	社 員 数		増減数	摘要
	本年度末 2025 年 2 月 28 日現在	前年度末 2024 年 2 月 29 日現在		
社員(代議員)	78	84	-6	

2. 会員の異動状況書

2025 年 2 月 28 日現在

会員種別		会 員 数		増減数	摘要
		本年度末 2025 年 2 月 28 日現在	前年度末 2024 年 2 月 29 日現在		
正 員	正 員	3,210	3,117	93	
	永年会員	270	261	9	
	シニア会員	155	134	21	
	終身会員	29	19	10	
	小 計	3,664	3,531	133	
学 生 員		862	737	125	
ユ ー ス会員		291	53	238	
外 国 会 員		72	242	-170	会員区分変更により正員に移行した人数を含む
名 誉 員		40	42	-2	
個人会員合計		4,929	4,605	324	
維持員(団体)		151	152	-1	

地区別正員数

2025 年 2 月 28 日現在

北海道	東 北	関 東	東 海	北陸信越	関 西	中国四国	九 州	合 計
97	318	1,265	353	165	596	213	203	3,210

新名誉員 2 名 (2024 年 3 月推戴)

掛下 知行 毛利 哲夫

新永年会員 18 名

大笹 憲一	加納 誠	久保 紘	黒沢 和芳	黒田 哲郎	小林 政信
斎藤 宏通	佐藤 照夫	實川 資朗	進藤 大輔	泰松 斉	巽 宏平
原田 幸明	東 健司	姫宮 利融	細谷 佳弘	松宮 徹	山口 周

貸 借 対 照 表

2025年2月28日現在

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	75,742,284	75,778,652	-36,368
未収会費	2,812,332	2,913,164	-100,832
未収金	2,339,598	2,333,809	5,789
貸倒引当金	-154,551	-157,402	2,851
前払金	440,000	440,000	0
棚卸資産	4,517,315	4,869,243	-351,928
その他流動資産	0	0	0
流動資産合計	85,696,978	86,177,466	-480,488
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	83,996,449	85,822,366	-1,825,917
減価償却引当資産	13,957,384	11,831,594	2,125,790
刊行事業資金	305,000,000	305,000,000	0
刊行事業拡充賛助寄付資金	108,750,000	128,700,000	-19,950,000
講演会・講習会事業資金	306,500,000	306,500,000	0
国際会議開催準備資金	3,000,000	3,000,000	0
調査・研究事業資金	238,139,722	262,187,760	-24,048,038
調査・研究事業拡充資金	85,000,000	85,000,000	0
国際学術交流資金	87,135,540	98,947,140	-11,811,600
表彰・奨励事業資金	50,000,000	50,000,000	0
学会賞資金	11,291,405	11,465,105	-173,700
研究技能功労賞資金	5,979,890	6,790,490	-810,600
奨励賞・奨学賞等資金	46,786,365	52,518,465	-5,732,100
谷川・ハリス賞資金	12,814,050	14,551,050	-1,737,000
増本量賞資金	29,899,450	33,952,450	-4,053,000
村上賞資金	91,129,000	103,599,000	-12,470,000
特定資産合計	1,479,379,255	1,559,865,420	-80,486,165
(2) その他固定資産			
什器備品	2,363,849	2,363,849	0
減価償却累計額	-1,764,569	-1,503,727	-260,842
リース 什器備品	1,993,200	4,665,624	-2,672,424
減価償却累計額	-497,640	-3,996,840	3,499,200
小計 什器備品	4,357,049	7,029,473	-2,672,424
減価償却累計額	-2,262,209	-5,500,567	3,238,358
ソフトウェア	17,368,560	16,477,560	891,000
減価償却累計額	-12,030,115	-10,273,634	-1,756,481
リース ソフトウェア	772,200	0	772,200
減価償却累計額	-25,740	0	-25,740
小計 ソフトウェア	18,140,760	16,477,560	1,663,200
減価償却累計額	-12,055,855	-10,273,634	-1,782,221
商標権	162,700	162,700	0
減価償却累計額	-162,700	-108,466	-54,234
小計 商標権	162,700	162,700	0
減価償却累計額	-162,700	-108,466	-54,234
電話加入権	50,300	50,300	0
敷 金	2,400,000	2,400,000	0
その他固定資産合計	10,630,045	10,237,366	392,679
固定資産合計	1,490,009,300	1,570,102,786	-80,093,486
資産合計	1,575,706,278	1,656,280,252	-80,573,974
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,948,154	2,699,853	248,301
前受金	43,317,105	39,869,769	3,447,336
預り金	6,021,428	5,415,729	605,699
リース債務	508,200	219,984	288,216
その他流動負債	0	0	0
流動負債合計	52,794,887	48,205,335	4,589,552
2. 固定負債			
リース債務	1,733,820	448,800	1,285,020
退職給付引当金	83,996,449	85,822,366	-1,825,917
固定負債合計	85,730,269	86,271,166	-540,897
負債合計	138,525,156	134,476,501	4,048,655
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	383,959,400	440,523,700	-56,564,300
(うち特定資産への充当額)	(383,959,400)	(440,523,700)	(-56,564,300)
2. 一般正味財産			
一般正味財産	1,053,395,422	1,081,280,051	-27,884,629
(うち特定資産への充当額)	(1,011,597,106)	(1,033,519,354)	(-21,922,248)
正味財産合計	1,437,181,122	1,521,803,751	-84,622,629
負債及び正味財産合計	1,575,706,278	1,656,280,252	-80,573,974

公益社団法人 日本金属学会
正 味 財 産 増 減 計 算 書
2024年3月1日から2025年2月28日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	23,770,779	19,939,701	3,831,078	
特定資産受取利息	23,770,779	19,939,701	3,831,078	
退職給付引当資産	690,000	690,336	-336	
刊行事業資金	6,390,000	6,390,000	0	
講演会・講習会事業資金	5,990,000	5,990,000	0	
調査・研究事業資金	4,800,649	4,057,730	742,919	
国際学術交流資金	1,428,000	41,080	1,386,920	国債再投資
表彰・奨励事業資金	1,050,000	1,050,000	0	
学会賞資金	231,000	210,604	20,396	
研究技能功労賞資金	98,000	2,819	95,181	
奨励賞・奨学賞等資金	693,090	20,026	673,064	国債再投資
谷川・ハリス賞資金	210,000	6,041	203,959	
増本量賞資金	490,000	14,096	475,904	
村上賞資金	1,700,040	1,466,969	233,071	
受取入会金	89,000	102,000	-13,000	
受取入会金	89,000	102,000	-13,000	
受取会費	63,327,735	63,853,456	-525,721	
正員受取会費	30,724,331	31,088,016	-363,685	
学生員受取会費	3,414,404	3,465,540	-51,136	
維持員受取会費	27,879,166	28,150,000	-270,834	
外国会員受取会費	1,309,834	1,149,900	159,934	
事業収益	88,559,450	88,875,932	-316,482	
刊行事業収益	44,349,550	52,051,688	-7,702,138	
会報購読費収益	1,696,504	1,807,010	-110,506	
会誌購読費収益	3,873,972	4,056,614	-182,642	
欧文誌購読費収益	7,282,403	7,852,500	-570,097	
会報別刷等収益	2,858,680	3,471,930	-613,250	
会誌別刷・審査収益	315,680	482,000	-166,320	
欧文誌別刷・審査収益	21,088,180	26,574,370	-5,486,190	
刊行事業広告収益	4,189,460	4,058,560	130,900	
単行本収益	1,848,945	2,827,344	-978,399	販売数減
著作権料収益	1,195,726	921,360	274,366	
講演会・講習会事業収益	42,121,200	34,391,603	7,729,597	
講演大会参加費収益	26,990,000	23,059,000	3,931,000	
講演概要集収益	386,000	366,000	20,000	
講演大会懇親会参加費収益	1,841,000	747,000	1,094,000	参加者数増
金属学会シンポジウム参加費収益	0	371,000	-371,000	
金属学会シンポジウム予稿集収益	5,600	1,480	4,120	
セミナー参加費収益	7,422,000	4,792,000	2,630,000	参加者数増
セミナーテキスト収益	6,140	0	6,140	
講演会・講習会事業広告収益	3,151,786	3,479,746	-327,960	
講演会・講習会事業委託収益	424,744	368,619	56,125	
支部講演会・講習会事業収益	1,893,930	1,206,758	687,172	事業開催増
調査・研究事業収益	1,672,900	2,254,441	-581,541	
調査・研究事業収益	1,672,900	2,254,441	-581,541	
表彰・奨励事業収益	415,800	178,200	237,600	
審査・投稿料収益	415,800	178,200	237,600	
受取助成金等	45,000	6,877,477	-6,832,477	
受取助成金	45,000	6,877,477	-6,832,477	事業開催補助金減
受取寄付金	20,000,000	0	20,000,000	
受取寄付金	20,000,000	0	20,000,000	刊行事業拡充賛助寄付資金から振替
雑収益	966,230	98,892	867,338	
受取利息	0	2,816	-2,816	
雑収益	926,958	96,076	830,882	フロンティア助成金一部返金あり
支部受取利息・雑収益	39,272	0	39,272	
経常収益計	196,758,194	179,747,458	17,010,736	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
(2)経常費用				
事業費	182,849,255	173,545,488	9,303,767	
刊行事業費	79,719,202	80,311,488	-592,286	
給料手当	28,451,176	25,973,999	2,477,177	
退職給付費用	1,934,066	1,712,952	221,114	
福利厚生費	3,737,681	4,252,717	-515,036	
会報刊行費	34,849,159	33,952,306	896,853	
会誌刊行費	1,918,508	1,816,639	101,869	
欧文誌刊行費	8,180,294	11,662,734	-3,482,440	投稿数減
学術図書類刊行費	648,318	940,141	-291,823	
講演会・講習会事業費	55,661,280	55,676,496	-15,216	
給料手当	17,070,705	15,584,399	1,486,306	
退職給付費用	1,160,440	1,027,771	132,669	
福利厚生費	2,242,608	2,551,630	-309,022	
講演大会開催費	23,230,055	28,017,193	-4,787,138	
講演大会懇親会費	1,581,798	851,478	730,320	参加者数増
本多記念講演開催費	93,409	83,352	10,057	
金属学会シンポジウム開催費	2,500	174,732	-172,232	
セミナー開催費	2,443,681	1,392,671	1,051,010	参加者数増
国際会議開催費	7,500	3,507,500	-3,500,000	国際会議開催なし
支部講演会・講習会開催費	7,828,584	2,485,770	5,342,814	支出科目変更の影響
調査・研究事業費	38,713,382	29,281,324	9,432,058	
給料手当	2,845,118	2,597,400	247,718	
退職給付費用	193,407	171,295	22,112	
福利厚生費	373,768	425,272	-51,504	
関連団体連携事業費	163,000	103,000	60,000	
日本工学会費	144,180	129,686	14,494	
材料戦略委員会費	2,500	2,500	0	
科研費委員会費	2,500	2,500	0	
人材育成委員会費	10,000	10,000	0	
男女共同参画委員会費	499,686	58,577	441,109	
調査・研究委員会費	2,280,993	2,839,913	-558,920	
研究会費	4,546,136	3,811,223	734,913	
研究助成費	22,500,500	15,000,500	7,500,000	助成数増(10→15)
企画委員会費	77,766	5,000	72,766	
セルフガバナンス委員会費	2,500	2,500	0	
国際学術交流委員会費	5,071,328	4,121,958	949,370	
表彰・奨励事業費	8,362,383	7,717,051	645,332	
給料手当	2,845,118	2,597,400	247,718	
退職給付費用	193,407	171,295	22,112	
福利厚生費	373,768	425,272	-51,504	
名誉員費	251,200	3,500	247,700	
各種賞検討委員会費	1,097,881	1,159,503	-61,622	
学会賞費	653,840	715,800	-61,960	
学術貢献賞費	3,500	3,500	0	
学術功労賞費	3,500	3,500	0	
技術賞費	76,100	100,850	-24,750	
技術開発賞費	77,915	53,800	24,115	
金属組織写真賞費	142,215	82,876	59,339	
研究技能功労賞費	668,540	330,650	337,890	
功績賞費	257,600	263,100	-5,500	
功労賞費	3,500	3,500	0	
奨励賞・奨学賞等費	407,750	372,360	35,390	
谷川・ハリス賞費	47,500	68,400	-20,900	
増本量賞費	234,100	207,500	26,600	
まてりあ賞	3,500	3,500	0	
村上賞費	989,500	912,500	77,000	
論文賞費	3,500	216,800	-213,300	
フェロー費	28,449	19,100	9,349	
支部表彰・奨励事業費	0	2,345	-2,345	
貸倒引当損	393,008	559,129	-166,121	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
管理費	17,594,881	17,656,140	-61,259	
給料手当	5,690,235	5,194,798	495,437	
退職給付費用	386,812	342,590	44,222	
福利厚生費	747,536	850,542	-103,006	
会議費	1,091,365	125,459	965,906	事業開催増 支出科目変更の影響
旅費交通費	1,745,980	2,234,036	-488,056	
通信運搬費	795,670	992,789	-197,119	
減価償却費	247,832	272,660	-24,828	
消耗什器備品費	189,836	476,365	-286,529	
消耗品費	28,684	19,930	8,754	
修繕費	0	2,826	-2,826	
印刷製本費	203,088	697,525	-494,437	
光熱水料費	61,633	61,854	-221	
賃借料	528,000	528,000	0	
保険料	11,794	7,942	3,852	
諸謝金	20,046	20,046	0	
租税公課	2,720,500	3,091,500	-371,000	
送金手数料	293,995	231,579	62,416	
支払負担金	12,000	45,000	-33,000	
システム管理費	832,665	707,774	124,891	
委託費	1,804,535	1,606,755	197,780	
貸倒引当損	77,658	71,150	6,508	
雑費	105,017	75,020	29,997	
経常費用計	200,444,136	191,201,628	9,242,508	
評価損益等調整前経常増減額	-3,685,942	-11,454,170	7,768,228	
特定資産評価損益等	-24,198,687	-3,465,964	-20,732,723	
当期経常増減額	-27,884,629	-14,920,134	-12,964,495	

2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-27,884,629	-14,920,134	-12,964,495	
一般正味財産期首残高	1,081,280,051	1,096,200,185	-14,920,134	
一般正味財産期末残高	1,053,395,422	1,081,280,051	-27,884,629	
Ⅱ. 指定正味財産増減の部				
特定資産受取利息	1,700,040	1,494,832	205,208	
未経過償還差額金の償却額	301,399	173,635	127,764	
刊行事業拡充賛助寄付金	50,000	50,000	0	
一般正味財産への振替額	21,700,040	1,494,832	20,205,208	20,000,000円を受取寄付金へ振替
特定資産評価損益等	-37,089,399	-6,834,621	-30,254,778	
当期指定正味財産増減額	-56,738,000	-6,610,986	-50,127,014	
指定正味財産期首残高	440,523,700	447,134,686	-6,610,986	
指定正味財産期末残高	383,785,700	440,523,700	-56,738,000	
Ⅲ. 正味財産期末残高	1,437,181,122	1,521,803,751	-84,622,629	

(注)1. 小科目の対前年度比較30%超かつ50万円超の増減の理由および補足説明を備考欄に記載した。

2. 人件費の配賦率は、刊行事業50%、講演会・講習会事業30%、調査・研究事業5%、表彰・奨励事業5%、法人会計10%としている。

正味財産増減計算書内訳表

2024年3月1日から2025年2月28日まで

(単位：円)

科 目	公 益 目 的 的 事 業 会 計				法 人 会 計	内 部 取 引 消 去 合	計
	刊 行 事 業 講 演 会 ・ 講 習 会 事 業 調 査 ・ 研 究 事 業 表 彰 ・ 奨 励 事 業 共 通 小 計	公 益	目 的	的 事 業			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
特定資産運用益	6,390,000	5,990,000	6,228,649	4,472,130	621,000	23,701,779	23,770,779
特定資産受取利息	6,390,000	5,990,000	6,228,649	4,472,130	621,000	23,701,779	23,770,779
受取入会金	0	0	0	89,000	0	89,000	89,000
受取入会金	0	0	0	89,000	0	89,000	89,000
受取会費	0	0	0	0	47,495,804	15,831,931	63,327,735
正員受取会費	0	0	0	0	23,043,249	7,681,082	30,724,331
学生員受取会費	0	0	0	0	2,560,804	853,600	3,414,404
維持員受取会費	0	0	0	0	20,909,375	6,969,791	27,879,166
外国会員受取会費	0	0	0	0	982,376	327,458	1,309,834
事業収益	44,349,550	42,121,200	1,672,900	415,800	88,559,450	0	88,559,450
刊行事業収益	44,349,550	0	0	0	44,349,550	0	44,349,550
講演会・講習会事業収益	0	42,121,200	0	0	42,121,200	0	42,121,200
調査・研究事業収益	0	0	1,672,900	0	1,672,900	0	1,672,900
表彰・奨励事業収益	0	0	0	415,800	415,800	0	415,800
受取助成金等	0	45,000	0	0	45,000	0	45,000
受取助成金	0	45,000	0	0	45,000	0	45,000
受取寄付金	20,000,000	0	0	0	20,000,000	0	20,000,000
受取寄付金	20,000,000	0	0	0	20,000,000	0	20,000,000
雑収益	0	0	0	0	958,126	8,104	966,230
雑収益	0	0	0	0	918,854	8,104	926,958
支部受取利息・雑収益	0	0	0	0	39,272	0	39,272
経常収益計	70,739,550	48,156,200	7,901,549	4,976,930	180,849,159	15,909,035	196,758,194
(2) 経常費用							
事業費	79,719,202	55,661,280	38,713,382	8,362,383	393,008	182,849,255	182,849,255
給料手当	28,451,176	17,070,705	2,845,118	2,845,118	0	51,212,117	51,212,117
臨時雇賃金	0	1,378,296	138,920	0	0	1,517,216	1,517,216
退職給付費用	1,934,066	1,160,440	193,407	193,407	0	3,481,320	3,481,320
福利厚生費	3,737,681	2,242,608	373,768	373,768	0	6,727,825	6,727,825
会議費	2,592	8,254,437	3,381,169	0	0	11,638,198	11,638,198
旅費交通費	89,100	5,026,519	7,298,156	732,629	0	13,146,404	13,146,404
通信運搬費	5,635,110	1,774,955	37,070	33,000	0	7,480,135	7,480,135
減価償却費	1,239,161	743,496	123,916	123,916	0	2,230,489	2,230,489
消耗什器備品費	1,706,536	3,522,111	94,919	94,919	0	5,418,485	5,418,485
消耗品費	61,000	767,758	64,376	16,500	0	909,634	909,634
印刷製本費	27,484,854	4,203,428	30,017	87,580	0	31,805,879	31,805,879
光熱水料費	308,168	184,901	30,817	30,817	0	554,703	554,703
賃借料	2,640,000	1,584,000	264,000	264,000	0	4,752,000	4,752,000
保険料	58,970	35,382	5,897	5,897	0	106,146	106,146
諸謝金	729,825	3,104,165	336,836	0	0	4,170,826	4,170,826
送金手数料	1,476,486	921,567	146,999	146,999	0	2,692,051	2,692,051
賞状・賞牌・副賞費	0	278,516	40,734	2,997,500	0	3,316,750	3,316,750
支払助成金	0	0	22,500,000	0	0	22,500,000	22,500,000
支払負担金	1,150	200,000	387,700	0	0	588,850	588,850
システム管理費	4,163,327	2,497,996	416,333	416,333	0	7,493,989	7,493,989
委託費	0	710,000	0	0	0	710,000	710,000
貸倒引当損	0	0	0	0	393,008	393,008	393,008
雑費	0	0	3,230	0	0	3,230	3,230

科 目	刊 行 事 業 講 演 会 ・ 講 習 会 事 業 調 査 ・ 公 益 目 的 的 事 業 表 彰 ・ 奨 励 事 業 共 計	法 人 会 計 内 部 取 引 消 去 合 計
管理費	0	17,594,881
給料手当	0	5,690,235
退職給付費用	0	386,812
福利厚生費	0	747,536
会議費	0	1,091,365
旅費交通費	0	1,745,980
通信運搬費	0	795,670
減価償却費	0	247,832
消耗什器備品費	0	189,836
消耗品費	0	28,684
印刷製本費	0	203,088
光熱水料費	0	61,633
賃借料	0	528,000
保険料	0	11,794
諸謝金	0	20,046
租税公課	0	2,720,500
送金手数料	0	293,995
支払負担金	0	12,000
システム管理費	0	832,665
委託費	0	1,804,535
貸倒引当損	0	77,658
雑費	0	105,017
経常費用計	79,719,202	182,849,255
評価増益等調整前経常増減額	-8,979,652	17,594,881
特定資産評価増減等	0	-1,685,946
当期経常増減額	-8,979,652	-24,198,687
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	0
経常外収益計	0	0
(2) 経常外費用	0	0
固定資産除却損	0	0
経常外費用計	0	0
当期経常外増減額	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-8,979,652	-26,198,783
他会計振替額	8,979,652	-50,832,667
当期一般正味財産増減額	0	-2,150,745
一般正味財産期首残高	305,000,000	43,268,101
一般正味財産期末残高	305,000,000	41,582,255
Ⅱ 指定正味財産増減の部		
特定資産受取利息	0	1,700,040
未經過償還差額金の償却額	0	301,399
刊行事業拡充費助寄付金	50,000	50,000
一般正味財産への振替額	20,000,000	21,700,040
特定資産評価増減等	0	-37,089,399
当期指定正味財産増減額	-19,950,000	-56,738,000
指定正味財産期首残高	128,700,000	440,523,700
指定正味財産期末残高	108,750,000	383,785,700
Ⅲ 正味財産期末残高	413,750,000	1,437,181,122

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

償却原価法（定額法）によっている。

その他有価証券

時価のあるものは、決算日の市場価格等に基づく時価法によっている。

また、時価のある債券は、償却原価法（定額法）を適用した上で、決算日の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法は、先入先出法に基づく原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は定率法、無形固定資産は定額法、リース資産はリース期間定額法による。

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金は、過去の実績率に基づき計上している。

退職給付引当金は、学会都合退職の期末要支給額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

所有権移転以外のファイナンス・リース取引に係るリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価格を0円とする定額法によっている。

(6) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込み方式による。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産はない。

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	85,822,366	3,710,083	5,536,000	83,996,449
減価償却引当資産	11,831,594	2,125,790		13,957,384
刊行事業資金	305,000,000			305,000,000
刊行事業拡充賛助寄付資金	128,700,000	50,000	20,000,000	108,750,000
講演会・講習会事業資金	306,500,000			306,500,000
国際会議開催準備資金	3,000,000			3,000,000
調査・研究事業資金	262,187,760	150,649	24,198,687	238,139,722
調査・研究事業拡充資金	85,000,000			85,000,000
国際学術交流資金	98,947,140	141,605	11,953,205	87,135,540
表彰・奨励事業資金	50,000,000			50,000,000
学会賞資金	11,465,105	2,083	175,783	11,291,405
研究技術功労賞資金	6,790,490	9,718	820,318	5,979,890
奨励・奨学賞等資金	52,518,465	68,720	5,800,820	46,786,365
谷川・ハリス賞資金	14,551,050	20,825	1,757,825	12,814,050
増本量賞資金	33,952,450	48,590	4,101,590	29,899,450
村上賞資金	103,599,000	9,858	12,479,858	91,129,000
合 計	1,559,865,420	6,337,921	86,824,086	1,479,379,255

注 未経過償還差額の償却額を当期増加額に計上している。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産はない。

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	83,996,449	—	—	(83,996,449)
減価償却引当資産	13,957,384	—	(13,957,384)	—
刊行事業資金	305,000,000	—	(305,000,000)	—
刊行事業拡充賛助寄付資金	108,750,000	(108,750,000)	—	—
講演会・講習会事業資金	306,500,000	—	(306,500,000)	—
国際会議開催準備資金	3,000,000	—	(3,000,000)	—
調査・研究事業資金	238,139,722	—	(238,139,722)	—
調査・研究事業拡充資金	85,000,000	—	(85,000,000)	—
国際学術交流資金	87,135,540	(87,135,540)	—	—
表彰・奨励事業資金	50,000,000	—	(50,000,000)	—
学会賞資金	11,291,405	(1,465,105)	(10,000,000)	—
研究技術功労賞資金	5,979,890	(5,979,890)	—	—
奨励・奨学賞等資金	46,786,365	(46,786,365)	—	—
谷川・ハリス賞資金	12,814,050	(12,814,050)	—	—
増本量賞資金	29,899,450	(29,899,450)	—	—
村上賞資金	91,129,000	(91,129,000)	—	—
合 計	1,479,379,255	(383,959,400)	(1,011,597,106)	(83,996,449)

4. 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

5. ファイナンス・リース取引

リース資産の主な内容は、次のとおりである。

複合コピー機1台。

6. 保証債務等の偶発債務

保証債務等の偶発債務はない。

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
国債			
※第3回利付国債(30年)	49,987,760	53,273,500	3,285,740
第5回利付国債(30年)	100,000,000	106,957,000	6,957,000
第13回利付国債(30年)	20,000,000	21,231,200	1,231,200
第17回利付国債(30年)	20,000,000	21,902,800	1,902,800
第33回利付国債(30年)	10,000,000	10,267,900	267,900
第44回利付国債(30年)	80,000,000	75,985,600	-4,014,400
第80回利付国債(20年)	50,000,000	50,256,500	256,500
第85回利付国債(20年)	50,000,000	50,761,500	761,500
第88回利付国債(20年)	30,000,000	30,621,600	621,600
第90回利付国債(20年)	50,000,000	51,126,500	1,126,500
第93回利付国債(20年)	100,000,000	102,478,000	2,478,000
第98回利付国債(20年)	50,000,000	51,611,500	1,611,500
第99回利付国債(20年)	60,000,000	62,093,400	2,093,400
第105回利付国債(20年)	50,000,000	52,091,000	2,091,000
第110回利付国債(20年)	40,000,000	41,824,800	1,824,800
合 計	759,987,760	782,482,800	22,495,040

※帳簿価額は満期までの未経過償還差額を減算して計上している。

8. 助成金・補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及びその残高

助成金の内訳並びに交付者、当期の増減額及びその残高は次のとおりである。

助成金・補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
松江市コンベンション開催支援事業補助金(中国四国支部)	一般財団法人くくにびき メッセ	0	45,000	45,000	0
合 計		0	45,000	45,000	0

貸借対照表上の記載区分なし

9. 一般正味財産への振替額

内 容	金 額
経常収益への振替額	
特定資産受取利息	
村上賞授与による振替額	1,700,040
刊行事業拡充賛助寄付金	
受取寄付金への振替額	20,000,000

10. 金融商品に対する取組方針

1.当法人は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、金融商品により資産運用する。

なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

2.金融商品の内容及びそのリスク

金融商品は、債券であり、発行体の信用リスクにさらされている。

3.金融商品に係るリスク管理体制

①資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

②信用リスクの管理

金融商品については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

11. 重要な後発事象

重要な後発事象はない。

12. 使途を特定した寄付による公益目的事業の詳細

(単位：円)

		経常収益	経常費用	経常増減	備 考
国際学術交流資金	特定資産運用益	1,428,000			
	国際学術交流委員会費		5,071,328		
	小 計	1,428,000	5,071,328	-3,643,328	
学会賞資金	受取入会金	89,000			
	特定資産運用益	231,000			
	諸費用(賞状・賞牌費等)		653,840		
	小 計	320,000	653,840	-333,840	
研究技能功労賞資金	特定資産運用益	98,000			
	諸費用(賞状・賞牌費等)		668,540		
	小 計	98,000	668,540	-570,540	

奨励賞・奨学賞等資金	特定資産運用益 諸費用(賞状・賞牌費等)	693,090	407,750		
	小 計	693,090	407,750	285,340	
谷川・ハリス賞資金	特定資産運用益 諸費用(賞状・賞牌費等)	210,000	47,500		
	小 計	210,000	47,500	162,500	
増本量賞資金	特定資産運用益 諸費用(賞状・賞牌費等)	490,000	234,100		
	小 計	490,000	234,100	255,900	
村上賞資金	特定資産運用益 諸費用(賞状・賞牌費等)	1,700,040	989,500		
	小 計	1,700,040	989,500	710,540	
	合 計	4,939,130	8,072,558	-3,133,428	

1 3. 刊行事業拡充賛助寄付金の内訳

(単位：円)

寄付金額	件数(法人)	件数(個人)	寄付合計額
100,000円未満	1	0	50,000
合 計	1	0	50,000

寄付金額の分類は、公益社団法人及び公益財団法人の寄付金収入に関する実態調査(内閣府平成25年9月)の分類による。
寄付法人名は、刊行事業拡充賛助寄付規程および閲覧規程に基づいて、本会事務所で閲覧に供している。

計算書類の附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2及び3に記載している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	157,402	154,551	104,416	52,986	154,551
退職給付引当金	85,822,366	3,710,083	5,536,000	0	83,996,449

(注) 貸倒引当金の当期減少額「その他」は、洗替によるものです。

3. 損益計算書の内容を補足する重要事項

事業費用は個別の公益目的事業毎に管理する必要があることから、損益計算書(正味財産増減計算書)の経常費用の事業費の中科目は個別の公益目的事業の事業費用の科目に変更している。「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会)に定める中科目に係る金額は、正味財産増減計算書内訳表の合計覧に表示している。

財 産 目 録

2025年2月28日現在

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
預 金		運転資金として	75,742,284
	本部事業活動資金		56,946,201
当座預金	七十七銀行芭蕉の辻支店		4,595,683
普通預金			52,350,518
	三菱UFJ銀行 仙台中央支店 0022636		15,686,674
	三菱UFJ銀行 仙台中央支店 0094325		2,360,058
	七十七銀行 芭蕉の辻支店 0106178		22,313,860
	ゆうちょ銀行 02210		2,038,726
	ゆうちょ銀行 00130		9,951,200
	研究会事業活動資金 三菱UFJ銀行 仙台中央支店 0084767		8,069,719
	支部事業活動資金		10,726,364
	三菱UFJ銀行 仙台中央支店 北海道支部		1,551,925
	三菱UFJ銀行 仙台中央支店 東北支部		407,694
	三菱UFJ銀行 仙台中央支店 関東支部		2,302,783
	三菱UFJ銀行 仙台中央支店 東海支部		1,546,310
	三菱UFJ銀行 仙台中央支店 北陸信越支部		267,145
	三菱UFJ銀行 仙台中央支店 関西支部		1,501,398
	三菱UFJ銀行 仙台中央支店 中国四国支部		2,370,048
	三菱UFJ銀行 仙台中央支店 九州支部		779,061
未収会費	会員年会費	運転資金として	2,812,332
	正員会費収益		784,166
	学生会費収益		216,000
	外国会員会費収益		28,833
	維持員会費収益		1,783,333
未収金	刊行物購読費、広告など	運転資金として	2,339,598
	会報購読費収益		236,883
	会誌購読費収益		313,478
	欧文誌購読費収益		590,500
	単行本収益		272,757
	刊行事業広告収益		925,980
貸倒引当金	受取会費、刊行物購読費	運転資金として	-154,551
前払金		運転資金として	440,000
	事務所賃借料		440,000
棚卸資産		運転資金として	4,517,315
	郵便切手		88,020
	単行本		4,429,295
流動資産合計			85,696,978
(固定資産)			
特定資産			1,479,379,255
退職給付引当資産		職員7名に対する退職金に備えたもの。	83,996,449
	普通預金 三菱UFJ銀行仙台支店 0084770		53,996,449
	利付国債 三菱UFJ証券仙台支店		30,000,000
減価償却引当資産		固定資産再取得に備えたもので、資産取得資金として、管理している。公益目的事業に90%、法人運営に10%供する。	13,957,384
	普通預金 七十七銀行芭蕉の辻支店		13,957,384
刊行事業資金		公益目的保有財産であり、刊行事業拡充の財源として、使用している。	305,000,000
	普通預金 三菱UFJ銀行仙台中央支店		5,000,000
	利付国債 三菱UFJ証券仙台支店		100,000,000
	利付国債 三菱UFJ証券仙台支店		10,000,000
	利付国債 三菱UFJ証券仙台支店		50,000,000
	利付国債 三菱UFJ証券仙台支店		50,000,000
	利付国債 三菱UFJ証券仙台支店		50,000,000
	利付国債 三菱UFJ証券仙台支店		40,000,000
刊行事業拡充賛助寄付資金		公益目的保有財産であり、刊行事業拡充の財源として、使用している。	108,750,000
	普通預金 三菱UFJ銀行仙台中央支店		103,750,000
	普通預金 三菱UFJ銀行仙台中央支店 0022636		5,000,000
講演会・講習会事業資金		公益目的保有財産であり、講演会・講習会事業の財源として、使用している。	306,500,000
	普通預金 三菱UFJ銀行仙台中央支店		6,500,000
	利付国債 三菱UFJ証券仙台支店		20,000,000
	利付国債 三菱UFJ証券仙台支店		80,000,000
	利付国債 三菱UFJ証券仙台支店		50,000,000
	利付国債 三菱UFJ証券仙台支店		100,000,000
	利付国債 三菱UFJ証券仙台支店		50,000,000
国際会議開催準備資金		公益目的保有財産であり、講演会・講習会事業の財源として、財源として、使用している。	3,000,000
	普通預金 三菱UFJ銀行仙台中央支店 0080425		3,000,000
調査・研究事業資金		公益目的保有財産であり、調査・研究事業の財源として、使用している。	238,139,722
	利付国債 三菱UFJ証券仙台支店		49,989,722
	利付国債 三菱UFJ証券仙台支店		20,000,000
	利付国債 みずほ証券仙台支店		81,320,000
	利付国債 みずほ証券仙台支店		86,830,000
調査・研究事業拡充資金		公益目的保有財産であり、調査・研究事業の財源として、使用している。	85,000,000
	普通預金 三菱UFJ銀行仙台中央支店		85,000,000
国際学術交流資金		公益目的保有財産であり、調査・研究事業の財源として、使用している。	87,135,540
	普通預金 三菱UFJ銀行仙台中央支店		4,189,140
	利付国債 みずほ証券仙台支店		82,946,400
表彰・奨励事業資金		公益目的保有財産であり、表彰・奨励事業の財源として、使用している。	50,000,000
	利付国債 三菱UFJ証券仙台支店		50,000,000
学会賞資金		公益目的保有財産であり、表彰・奨励事業の財源として、使用している。	11,291,405
	定期預金 七十七銀行芭蕉の辻支店		10,000
	普通預金 三菱UFJ銀行仙台中央支店		61,605
	利付国債 みずほ証券仙台支店		1,219,800
	利付国債 三菱UFJ証券仙台支店		10,000,000

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	研究技能功労賞資金		公益目的保有財産であり、表彰・奨励事業	5,979,890
		普通預金 三菱UFJ銀行仙台中央支店	財源として、使用している。	287,490
		利付国債 みずほ証券仙台支店		5,692,400
	奨励賞・奨学賞等資金		公益目的保有財産であり、表彰・奨励事業	46,786,365
		定期預金 七十七銀行芭蕉の辻支店	財源として、使用している。	4,500,000
		普通預金 三菱UFJ銀行仙台中央支店 0080425		2,032,965
		利付国債 みずほ証券仙台支店		40,253,400
	谷川・ハリス賞資金		公益目的保有財産であり、表彰・奨励事業	12,814,050
		普通預金 三菱UFJ銀行仙台中央支店	財源として、使用している。	616,050
		利付国債 みずほ証券仙台支店		12,198,000
	増大量賞資金		公益目的保有財産であり、表彰・奨励事業	29,899,450
		普通預金 三菱UFJ銀行仙台中央支店	財源として、使用している。	1,437,450
		利付国債 みずほ証券仙台支店		28,462,000
	村上賞資金		公益目的保有財産であり、表彰・奨励事業	91,129,000
		定期預金 七十七銀行芭蕉の辻支店	財源として、使用している。	4,000,000
		普通預金 三菱UFJ銀行仙台中央支店		299,000
		利付国債 みずほ証券仙台支店		86,830,000
その他		公益目的事業に90%、法人運営に10%供する。	10,630,045	
固定資産	什器備品購入額			2,363,849
	減価償却累計額			-1,764,569
	リース資産（什器備品）			1,993,200
	減価償却累計額			-497,640
	ソフトウェア購入額			17,368,560
	減価償却累計額			-12,030,115
	リース資産（ソフトウェア）			772,200
	減価償却累計額			-25,740
	商標権			162,700
	減価償却累計額			-162,700
	電話加入権			50,300
	敷 金			2,400,000
固定資産合計			1,490,009,300	
資産合計			1,575,706,278	
(流動負債)				
	未払金			2,948,154
		2024年度団体世話幹事謝金	公益目的事業に90%、法人運営に10%供する。	18,000
		2024年度会計監査報酬（下期分）		324,317
		2024年度会計税務代理報酬（一年分）		528,000
		2025年2月分契約社員給与（3名分）		699,477
		2025年2月分郵便後納扱い分		1,960
		2025年2月分住民税（木更津市・仙台市・多賀城市）		201,600
		2024年度消費税(中間納付額除く)		1,174,800
	前受金		会員年会費は公益目的事業に75%、法人運営に25%供する。	43,317,105
		会員年会費		40,337,833
		正員受取会費		24,277,500
		学生員受取会費		1,628,666
		外国会員受取会費		140,000
		維持員受取会費		14,291,667
		購読費	購読費は公益目的事業に100%供する。	2,979,272
		会報購読費収益		0
		会誌購読費収益		1,445,417
		欧文誌購読費収益		1,533,855
	預り金			6,021,428
		源泉所得税<報酬>団体謝金	公益目的事業に90%、法人運営に10%供する。	2,046
		源泉所得税会計監査報酬（下期分）		33,183
		大会参加費（不課税）	講演会・講習会事業は公益目的事業に100%供する。	4,960,000
		大会参加費(課税)		795,000
		懇親会費		200,000
		雇用保険		31,199
	リース債務		公益目的事業に90%、法人運営に10%供する。	508,200
		電話設備一式		112,200
		カラー複合コピー機		241,560
		給与システムソフト		154,440
流動負債合計				52,794,887
(固定負債)	リース債務		公益目的事業に90%、法人運営に10%供する。	1,733,820
		電話設備一式		336,600
		カラー複合コピー機		805,200
		給与システムソフト		592,020
	退職給付引当金		職員7名に対する退職金の支払いに備えたもの。 公益目的事業に90%、法人運営に10%供する	83,996,449
固定負債合計			85,730,269	
負債合計			138,525,156	
正味財産			1,437,181,122	

2025 年 4 月 4 日

公益社団法人 日本金属学会
会 長 榎 学 殿

公益社団法人 日本金属学会

監 事 後藤 光宏



監 事 正橋 直哉



監 査 報 告 書

私たちは 2024 年 3 月 1 日から 2025 年 2 月 28 日までの 2024 年度における公益社団法人日本金属学会の業務及び財産の状況について法令及び定款に基づき監査を行い次の通り報告する。

1 監事の監査の方法及びその内容

- (1) 私たちは、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 私たちは、会計帳簿並びに関係書類の検査など必要と思われる監査手続を用いて計算書類(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)の正確性を検討した。

2 監査意見

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、本会の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 計算書類及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、本会の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為及び法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以 上

独立監査人の監査報告書

令和7年4月4日

公益社団法人 日本金属学会

代表理事 榎 学 殿

古川直磨公認会計士事務所

宮城県仙台市

公認会計士

古川直磨

<財務諸表等監査>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益社団法人 日本金属学会の令和6年3月1日から令和7年2月28日までの2024年度（令和6年度）の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、

その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益社団法人 日本金属学会の令和 7 年 2 月 28 日現在の 2024 年度（令和 6 年度）の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上